

省力化・高能率・高精度を叶えるスマート農機、ラインアップを拡充して新登場!

自動でまっすぐ直進。

自動直進機能を搭載したトラクターYT2A、YT4R/5RシリーズがSMARTPILOT®に新たに仲間入り。

SMARTPILOT

SMARTPILOT®とは位置情報やロボット技術などのICTを活用して農作業の省力化・効率化、高精度化を実現する自動運転技術を搭載した農業機械シリーズの総称です。



HPIはコチラ

スマートパイロットシリーズラインアップ(トラクター)

直進アシスト仕様トラクター

New YT2A

(G仕様)
YT225A/YT233A(J)



YT225A

ロボットトラクター

YT488A/YT498A/
YT4104A/YT5113A



オートトラクター

YT488A/YT498A/
YT4104A/YT5113A



直進アシスト仕様トラクター

New YT4R/5R

(G仕様)
YT488R/YT498R/
YT4104R/YT5114R



YT5114R

直進アシスト仕様トラクター

YT330R(J)/YT333R(J)/
YT338R(J)/YT345R(J)/
YT352RJ/YT357RJ



ヤンマーアグリジャパン オンラインEXPO 2023 SUMMER 開催!



開催期間 2023年6月1日(木)～2023年9月15日(金)

毎年多くのお客様にご来場いただいているオンラインEXPOを今年も開催します。持続可能な農業をテーマに、スマート農機や注目の新製品コーナーをはじめ、今回はコラムコーナーが登場。皆さまのお越しをお待ちしております!



会場はコチラ

YANMAR Agri-Press ヤンマーのメールマガジン

会員大募集中! 登録無料

HPIはコチラ

オンライン商談実施中!

ヤンマー オンライン 商談

ヤンマーでは、製品購入を検討中の方にご自宅にしながら商談いただける「オンライン商談」を実施しています。ヤンマーホームページより簡単に、お申込みいただけます。

HPIはコチラ

ヤンマー ホームページ
yanmar.com



ヤンマーアグリ
公式facebookページ



ヤンマーアグリ
「ヤンマー農業チャンネル」
YouTube チャンネルはコチラ



ヤンマーアグリ株式会社

〒702-8515 岡山県岡山市中区江並428
yanmar.com

掲載内容について

- メーカー希望小売価格は、10%の税込み価格です。一部地域において輸送費等により価格が異なることがあります。
- 本誌で紹介している写真にはオプションを含む場合があり、また希望小売価格掲載仕様とは異なる場合があります。
- 本誌の内容は予告なく変更する場合があります。

TOMBO CROSS Number 06

発行: ヤンマーアグリ株式会社「トンボクロス編集部」
〒530-0014 大阪府北区鶴野町1-9 TEL:06-6376-6264



YANMAR

Number 06

Yanmar Publication from 2023

TOMBO CROSS

人と農業とテクノロジーの交差点、トンボクロス



CLOSE UP!

収穫作業の
ご要望にお応えする

ヤンマーの
大型コンバイン
ソリューション

先進農業事情

TECHNOLOGY

普通型コンバイン
YH700Mをフル活用。

BUSINESS

水稲とねぎの利益拡大を
目指してビジョンを描く。

CLOSE UP!

収穫作業のご要望にお応えする

ヤンマールの 大型コンバイン ソリューション

土づくりからはじまり、
田植え、管理作業、そして収穫。
収穫は大切に育ててきた作物の
集大成ではないでしょうか。
だからこそ、ヤンマールは
無駄なく、高精度に、効率良く、
そしてできるだけラクに
収穫してほしいと考えています。

今回の特集では、農家の皆様の
収穫作業に関するご要望や目的に応じた
コンバインソリューションをご紹介します。



- 01 — **CLOSE UP!**
収穫作業のご要望にお応えする
ヤンマールの大型コンバインソリューション
- 07 — **先進農業事情**
TECHNOLOGY
耕畜連携に欠かせない子実とうもろこし栽培に
普通型コンバインYH700Mをフル活用。
- 09 — BUSINESS
父から受け継いだ向上心で邁進。
水稲とねぎの利益拡大を目指してビジョンを描く。
- 11 — **ヤンマールオンラインセミナー密着相談会**
見どころPICK UP
- 13 — **気になるKNOWS農TOPICS**
日本の世界農業遺産に学ぶ
農業の未来を育むヒント
- 15 — **ヤンマールのサービスマンが行く!!**
メンテナンスと格納時のポイント
(トラクター作業機)
- 17 — **メーカー探訪**
「地球を耕す」を理念によりよい未来を切り拓く。
小橋工業株式会社
- 19 — **情報広場**
第33回ヤンマール学生懸賞論文・作文
入選発表会
MINAMINO REPORT
- 20 — **みんなの相棒**
- 21 — **ヤンマール企業紹介**
YANMAR TOKYO
- 22 — **トンボ会メーカー いち押し商品**

営農支援情報誌「トンボクロス」の
バックナンバーをHPからご覧いただけます。

[https://www.yanmar.com/jp/
agri/knowledge/tombo_cross.html](https://www.yanmar.com/jp/agri/knowledge/tombo_cross.html)

HPはコチラ



目的 1 規模拡大に対応したい

そんな方には

＼ ヤンマーのコンバイン史上最大の高出力 ＼

NEWコンバイン〔YH6135/YH7135〕がおすすめ。 高速刈り取りで、能率アップをかなえます!

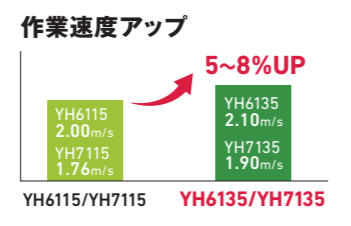
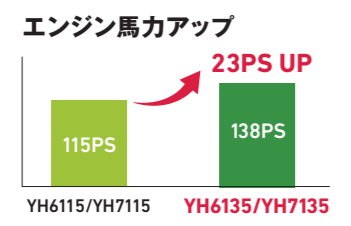


YH6135 (6条刈り)
YH7135 (7条刈り)

詳しくはコチラ

point 1 高出力エンジンのパワーで、 高能率・高速刈り取り。

高出力エンジンならではのパワーで、高速刈り取りを実現。大規模ほ場や、規模拡大で作業面積が増えても、能率の良い作業をすることができます。



point 2 高速刈り取り時の大量の稲も余裕の処理能力。

3段階で(ロングこぎ胴→送塵口処理胴→あざやかロータ)脱こくするプロセスを独自開発。ヤンマー史上最大の処理能力で高能率な脱こくと高精度な選別が行えます。



× 広い揺動板 × あざやかロータ

広い揺動板で大量の粉を効率良く、高精度に選別します。

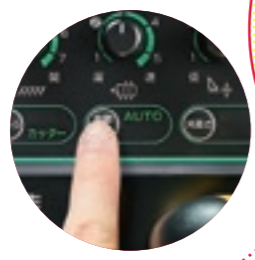
あざやかロータで枝梗を取り除き、きれいな選別を実現します。



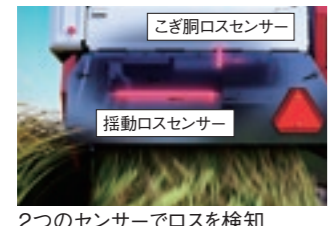
ヤンマーの 独自技術が 結集

point 3 複雑な操作は不要。 自動で粉のロス低減。

オペレータの熟練度に関わらず、スイッチひとつでロスを抑えた作業が可能です。自動で最適なロス・選別・作業速度に制御するため、作業に余裕が生まれます。



- スイッチひとつの簡単操作!
- センターディスプレイ上に表示されるのでリアルタイムでロスがわかる。
- ファン風量も自動で調整。選別精度が向上。
- 自動ロス制御中もお好みの選別精度に調整可能。



2つのセンサーでロスを検知

point 4 高速での刈り取り作業も、 丸ハンドル+電子制御FDSでらくらく操作。

ヤンマー独自の丸ハンドル+FDSなら、左右のクローラの回転差を自在に変えることができ、高速作業時での条合わせや四隅の枕刈り、隣接条への侵入も簡単です。大回りからその場旋回まで思い通りに走行でき、作業の能率も上がります。



point 5 居心地の良いキャビンで 長時間作業の疲労を軽減。

アームレスト付きセミサスペンションシートやオートエアコンなど、オペレータの疲労を軽減する装備が充実。足元・頭上広々とし、居心地の良いキャビン空間で視界性も高くなりました。



広々とした足元空間に、ヘッドクリアランスも十分



作業中にデバイダを目視できるので、条合わせがしやすい

開発者の声



ヤンマーアグリ株式会社 開発統括部 作業機開発部 安部 正純

YH6135/7135の開発に当たりリーダーを務めた安部に話を聞きました。

まず最初に、今回はどのような経緯で開発に至ったのでしょうか?
安部 かねてから実施していた現行機のお客様への聞き取り調査で、収量の多い(1反10俵以上)ほ場でもストレスなく作業できる高馬力のコンバインが欲しいとのご意見をいただいております。その声にお応えするため、開発をスタートしました。
「ストレスなく」とは、具体的にどういうことでしょうか?また、それを実現するために、どのようなところにこだわったのでしょうか?
安部 「ストレスなく」には多くの要素が含まれていますが、まずはより多くの稲をより早く刈り取って無駄なく処理すること。そのために私たちが最初にこだわったのは、ヤンマーコンバイン史上最高出力のエンジンを搭載することでした。

高出力(高馬力)のエンジンを搭載するには、何か特別な配慮が必要なのではないでしょうか?
安部 もちろんです。特に今回は、ヤンマーコンバイン史上最高出力ということで、重さも大きさ(ファン含む)も最大級。従来通りに積んだのでは、重さで車体がバランスを崩しかねませんし、そもそも大きくて収まりません。シンプルな課題ですが、難題です。しかも初めて採用されるエンジンですから参考になる搭載例もなく、周辺部品の軽量化とレイアウトの工夫、さらに強度の確保に試行錯誤で、まさに挑戦の日々でした。

しかし、エンジンだけでは「より多くの稲をより早く刈り取って無駄なく処理すること」はできませんよね。
安部 そうなんです。刈り取りや脱こく、選別などの作業部の能力アップも並行して行わなければなりません。特に、こぎ胴の長さについては議論を重ねました。難条件の作物にも対応できることを前提に、1300mmか1400mmかで検討するために、急きょプロト機を製作して評価し、ヤンマー初となる1400mmのロングこぎ胴が採用されました。

他にも注目すべきポイントがあれば教えてください。
安部 そうですね、自動刈高さ制御には注目して欲しいですね。ほ場からの高さをセンサーが感知して刈り取ってくれる機能で、こちらもヤンマー初なんです。他にも大量の稲に対応するための脱こく処理能力の向上や、さらに精度を向上させた自動ロス制御など、各部でヤンマー独自技術のバージョンアップに挑戦しました。その甲斐あって、皆様のご要望にお応えできるものに仕上がったと自負しております。

目的 2

安定した収益を確保したい

そんな方には

普通型コンバイン

〔YH700M・YH1150A〕がおすすめ。

様々な作物の収穫ができます!



※作物別にアタッチメントが必要です。詳しくはHPをご覧ください。

事例紹介 飼料高騰をきっかけに子実とうもろこしの栽培を始めた中森農産様の事例をご紹介します。詳しくは7ページへ。

YH700M (刈幅2592mm ワイドヘッダー)



詳しくはコチラ



YH1150A (刈幅3230mm スーパーワイドヘッダー)



詳しくはコチラ



point 1

リールヘッダー式で様々な作物を収穫!

稲・麦だけでなく大豆・小豆・そば・子実とうもろこしなど、様々な作物の収穫が可能です(稲の収穫はYH1150Aのみ)。

point 2

能率良く刈り取り、排出回数も短縮!

刈幅が広いので旋回の回数が少なく済み、走行距離を短縮。1900Lの大容量グレンタンク(YH1150A)で、広いほ場でも排出回数が少なく済み、長時間の連続作業にも充分に対応。作業時間の短縮に貢献します。

point 3

より高精度・高能率に収穫するなら、専用ヘッダーに交換!

収穫が困難な倒伏にも対応 コーンヘッダー

子実とうもろこし

倒伏した子実とうもろこしもしっかり刈り取ります。雌穂と茎葉をきれいに分離でき、きれいに選別できます。



詳しくはコチラ

短程でもしっかり収穫

豆類

ロックロップヘッダー

作業条件や品種に合わせて各部の細かい調節が可能で、豆類をより高精度に収穫できます。



詳しくはコチラ

point 4

各所に配置された掃除口で、異種混入を軽減し品質向上!

こく粒の溜まりやすい箇所に、クリーニングポート(掃除口)を設置。品種や作物を変えた場合でも、掃除もしやすく品質向上に役立ちます。



YH700Mのメンテナンス性について詳しくはコチラ



YH1150Aのメンテナンス性について詳しくはコチラ



目的 3

作業精度を安定させたい

そんな方には

オートコンバイン

〔YH6115〕がおすすめ。

自動操舵で

高能率な作業が可能に!



詳しくはコチラ

YH6115 (6条刈り)

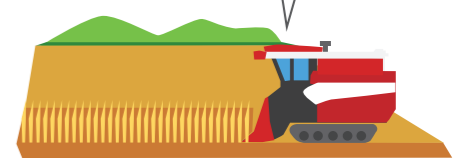


point 1

コンバイン操作経験の少ないオペレータもほ場の約9割を手放しで収穫できる!

- タブレットでカンタン設定

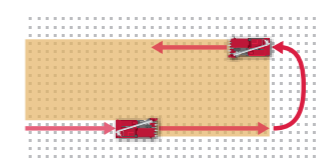
自動運転に必要な各種設定をこれひとつで操作。複雑な入力をすることなく、タッチだけで直感的に操作できます。また、作業中に刈高さや車速・エンジン回転数などの微調整が可能です。



● 作業に合わせて選べる3つのモード

〈オートモード〉

ほ場の約9割を自動で刈れます。直進・刈取昇降・旋回、粉排出への移動、中割りの位置決めを自動で行います。



作業動画はコチラ

〈枕地直進モード〉

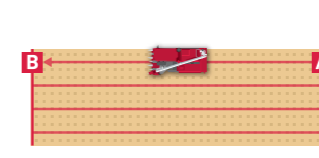
ほ場外形の辺に対してそれぞれ平行に自動操舵ができます。回り刈り時にも使用可能です。



作業動画はコチラ

〈直進モード〉

直進の基準線を登録することで、自動直進作業が可能になります。変形田で有効です。

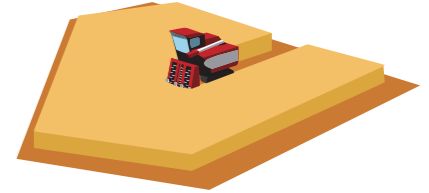


作業動画はコチラ

【自動で刈り取れる】



変形田でも

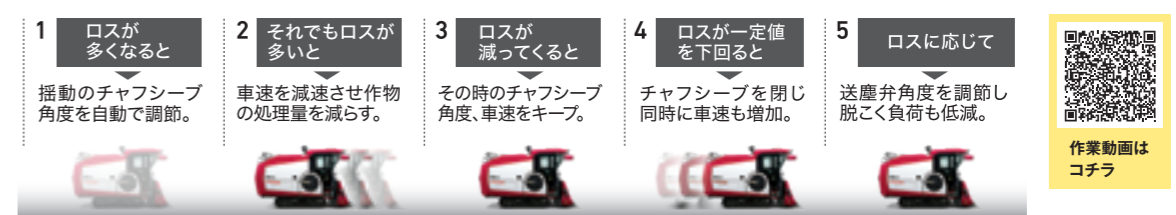


point 2

脱こく部を自動で最適化。ロスを気にせず収穫できる!

こぎ胴・揺動での粉のロスを検知し、選別・車速・送塵・風量を5段階の制御レベルに応じて自動で調整。ロスを低減します。

〈自動ロス制御の流れ〉



作業動画はコチラ

唐箕風量は、排わら量に応じて常に自動調整され、作業に合わせてロスを低減します。

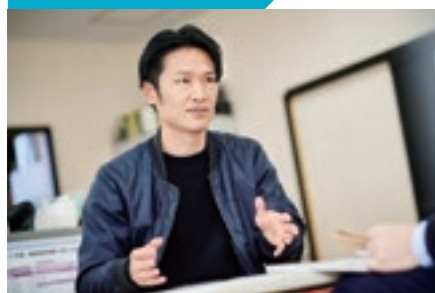
TECHNOLOGY

耕畜連携に欠かせない子実とうもろこし栽培に 普通型コンバインYH700Mをフル活用。

埼玉県加須市
中森農産株式会社

大規模水稲栽培が盛んな埼玉県加須市で、水稲や小麦、大豆などを栽培する中森農産株式会社(以下、同社)。
日本の農業、食料安定供給などの未来を見据えて新たに普通型コンバインYH700Mを導入された同社の取り組みについて、
代表の中森剛志氏にお話をうかがった。

営農データ



中森農産株式会社

代表取締役 中森 剛志氏

- 主な栽培作物：水稲145ha、小麦75ha、大豆60ha、子実とうもろこし20ha
- 栽培規模：300ha

地方・農業の底力を実感し 大規模水田農業を目指す

関東平野の北部、埼玉県加須市を拠点とする同社は、20~30代中心の若手社員で組織するフレッシュな農業法人だ。代表の中森氏は高校時代に「農業こそが社会基盤である」という思いを抱き、東京農業大学に進んで農業生産について学ばれた。その後は、青果流通・飲食事業を立ち上げてビジネスの道へと進まれたが、2011年の東日本大震災がきっかけとなって営農を志された。震災発生後すぐに支援に入った石巻で、インフラを遮断されながらも前向きな気持ちを失わない農村部の人々の姿に驚かされた中森氏。「田畑では食べ物がとれ、山には薪や水があり、トイレにも困らない。災害大国日本では、地方こそが有事の際の最大のセーフティネットであることを身を

もって知りました」と当時を振り返る。その地域が持つ最大の経営資源である農地を活用して利益を生み、地域を活性化させるにはどうすればよいか。熟慮の末に導き出された結論が「大規模水田農業」だった。「日本農業の要である水田農業は人材が育っておらず、世界の先進国と比べても将来性に課題があるのは明白。そこに参入するのが最もインパクトが大きいと考えました」と新規就農を決意。統計データを徹底的に調べ、さらに全国の農地をヒアリングして回った結果、都市圏に近く、新規就農者が農地を取得しやすかった加須市で営農を始められた。

子実とうもろこしの栽培を支える 普通型コンバインYH700M

水稲や小麦、大豆をつくってきた同社が普通型コンバインYH700Mを導入されたのは、2022年から着手した子実とうもろこし栽培がきっかけだ。

YH700Mだけでなく、YT5113ロボトラ®、YT490(写真)、AG1140Rなど多数のヤンマー機を活用しておられる。



近年、飼料高騰が続いており、その余波を受ける国内畜産業に貢献したいという思いも子実とうもろこし栽培を始める要因になった。

「YH700Mは、会社を立ち上げた時から農機の相談をしてきた内田農機さんからの提案で購入を決めました。コスト的にも無理なく導入でき、ヘッダーを変えれば大豆も刈れる点もポイントになりました」と中森氏。

「YH700Mのサイズ感は当社の営農規模にぴったりでした」と語るのは、子実とうもろこしの収穫作業を担当された同社の石川尚弥氏だ。コンパクトな機体サイズは、ほ場の出入口が狭くても操作がしやすく、また座席シートも上下・前後に調整できることもあってキャビンにもゆとりを感じられるという。

「特に操作性の良さは圧倒的だと思います。素直なハンドリングというか、こちらの思い通りにスルスルと動いてくれる感じがありますね」と、「乗用車感覚の操作」を目指して開発されたヤンマー独自

の丸ハンドルに太鼓判を押された。他にも、収穫する作物を変更する際は、異物混入を防ぐために機械のこまめな掃除が欠かせないがYH700Mは脱こく前カバーをはじめ、機械各部が簡単に、かつ大きく開口するため*1、日々の掃除やメンテナンスの手間が軽減される点にも満足されている。



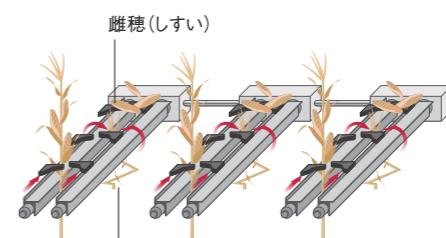
※1:掃除や手入れが必要な各部に掃除口があり簡単に点検・掃除ができる(ヤンマー普通型コンバインYHシリーズ共通)

ムダのない選別性能や、ロスの少ないコーンヘッダーも高く評価

子実とうもろこしだけでなく、大豆の収穫にYH700Mを用いた際は、プラットフォームの底部に設けられた目抜き穴から土ぼこりがふるい落とされることで、汚粒が大幅に少なくなることを実感。脱こくの際にも「余分なものはしっかり取り除かれ、粒だけがきれいに出てくる」と、選別性能の高さも評価されている。

また、アタッチメントのコーンヘッダーの機能についても特筆すべき点があると石川氏。特に、茎葉部分をローリングカッターで切り落とし、離穂(しすい)部分のみを脱こく部に搬送するという仕組み*2がもたらすヘッドロスの少なさを高く評価されて

いる。「当社のほ場は雑草が繁殖しやすいのですが、このコーンヘッダーは「飲み込む」というより「こそぎとる」感じで、余計なものが詰まるのが本場に少ないですね」。また、コーンヘッダーを装着したまま運搬用トレーラーに積み込む際には、機体水平制御の手動操作で車高を調整できるので、底部をこすリスクが軽減されるという、思わぬメリットも感じられたのだとか。



※2:ローリングカッターイメージ図
茎葉は下に引き抜き、離穂のみ脱こく部へ

ラインアップされていること自体に 意義がある機械

オペレータ目線から高く評価される一方で、経営者である中森氏は「私の知る限り、専用のコーンヘッダーが使える70馬力のコンバインはヤンマー以外にははずです。価格はリーズナブルで操作もしやすく、新規に子実とうもろこし栽培を始めるにはぴったりの機械です。YH700Mのような機械がより普及し、子実とうもろこしを栽培する生産者が増えれば、飼料の高騰に悩まされる日本の畜産業にもプラスになるのではないのでしょうか」と、YH700Mに専用アタッチメントがあること自体を評価された。今後は子実とうもろこしに加え



明確なビジョンを掲げながら「儲かる農業」を追求する同社には、社員の平均年齢29歳と若いメンバーが数多く集まる。飼料用子実とうもろこしの栽培に続いて、WCS(ホールクロップサイレージ)の生産や有機とうもろこしの生産なども計画。日本の農業、食料安全供給の未来を見据えた挑戦はこれからも続いていく。



WCS(ホールクロップサイレージ)づくりも予定されるなど、耕畜連携のさらなる推進を目指されている中森氏。「当社は栽培作物や栽培方法にはとらわれず、飼料であれ食用であれ、柔軟に選択しています。直進アシストやドローンといったスマート化の強化を含め、その時々で最も高い生産性が見込めるように最適化することが「儲かる農業」には不可欠であり、その先にある地方活性化や食料の安定供給にもつながると考えています」とビジョンを語ってくれた。農業を大局的に捉える視点と、若いスタッフが生み出すエネルギーを武器に、日本の食糧生産の未来をリードしていく同社の成長を、今後も見届けたい。

(取材・文 岡本成正)



設立時から同社を支える内田農機本部長の村上氏。「農業の世界に参入し、チャレンジする若手を助けるのが私たちの役割。今後彼らがどこまで成長するのか、日本一になるまで見守りたいですね」

麦・大豆・そば・子実とうもろこしと 様々な作物の収穫をムダなく速く。

大きな脱こく・選別部で、スピーディに、精度の高い収穫が行えます。

普通型コンバイン
YH700M
69PS



HPはコチラ



BUSINESS

父から受け継いだ向上心で邁進。 水稲とねぎの利益拡大を目指してビジョンを描く。

茨城県桜川市
[個人専業農家]

温暖な気候と清らかな山の水に恵まれた茨城県桜川市は、水稲栽培が盛んな地域である。2021年にねぎ農家として新規就農された刈部光陽氏は、いずれはお父様の辰男氏が経営する水稲も引き継ぎ、大規模な農業経営を目指されている。将来への投資としてねぎの機械化一貫体系を整え、着実な足取りで前進されている光陽氏の経営ビジョンについてうかがった。

営農データ



個人専業農家 刈部 光陽氏
●栽培作物：ねぎ
●栽培規模：約1ha

農家として歩む人生に覚悟を決め 父から独立して新規就農

幼少期からほ場で汗を流す辰男氏の背中を見て育ち、農繁期には田植えや収穫を手伝っていた光陽氏にとって、農家を継ぐことはごく自然な流れだった。大学卒業後は、「5年間は違う世界を経験したい」と飲食店チェーンの米のバイヤーとして埼玉と東京で勤務。予定通り5年後の2021年



光陽氏の就農を何よりも喜ばれているご様子の辰男氏。

に桜川に戻り、ねぎ農家として新規就農された。いずれは辰男氏が管理する水稲のほ場も引き継ぎ、経営を統合する予定ではあるが、現在は辰男氏とは完全に別経営で、機械への初期投資も運転資金も全て自己資金で賄っている。「仕事場は一緒ですが、親父は親父、自分は自分。これはケジメでもあり、覚悟でもあります。自分の足跡をしっかり確認しておきたいんです」と光陽氏。仕事に責任感を持ち、ご自身の足ではほ場を踏みしめる姿を、辰男氏も頼もしく思っておられるのではないだろうか。

別経営ではあるものの人材の配置だけは協力し合い、互いの農繁期には従業員を重点的に配置できる体制を整えている。栽培品目にねぎを選んだのはこのためである。ねぎの農繁期が水稲と重ならず収穫期も長いので、水稲の田植えや収穫が忙しい日にはねぎの収穫を遅らせて手伝いに行くという柔軟な対応ができ、経営を統合した後も、年間を通して安定した雇用と収益を生み出すことにつながる。

機械に投資して時間をつくるのが 将来に向けての伸びしろになる

光陽氏が就農する前年は秋冬ねぎの価格が高騰。これにより生産者が増え、翌年のねぎの単価は下落してしまった。年間を通して安定した収益を得るには、生産量が減り価格が上がる春から夏にかけての出荷が狙い目になる。「栽培難易度は上がりますが、春夏も出荷することになりました。年間を通して作業をすることになるので、省力化

を図るためにはなおのこと機械への投資が必要なんです」と光陽氏。機械については、20年以上の付き合いになるヤンマーの担当者へ相談。「担当の黒崎さんとはとにかく対応が早いし、心配りが細やか。黒崎さんに頼んでおけば問題ない、と絶大な信頼を置いています」。



「ヤンマーへの信頼と、長年お付き合いのある黒崎さんから機械を安心して購入できます」と光陽氏。

初年度はトラクターに加え、「管理機は定植前の溝掘りから必要なので、これがないと始まりません」と管理機YK750RK-Kと調製機ベストロボを購入し、0.2haから栽培をスタートされた。翌年3月には全自動ねぎ移植機PW10,Nを導入。4月にはねぎ収穫機HL10,Uの実演機に満足されて導入を決めたことでねぎの機械化一貫体系が整い、ほ場は1haまで拡大した。特に効果を実感されているのが収穫機のHL10,Uである。「作業人数5人で1日100mだった収穫距離が、1.5人で300mになりました。空いた人手は他の仕事に充てられますし、私が収穫をしている間も他のスタッフが調製・出荷をしてくれて収益を生み出すことができるので気持ちが良いですね」。移植機PW10,Nについても、「溝にタイヤを落と



辰男氏にも長年ヤンマー機をご愛用いただいております。将来は水稲栽培への想いとともに光陽氏に継承される。

せば後は手を離しても勝手に仕事をしてくれます。その間に苗を運べますし、作業がひとりのできるの、かなりの省力化になりました」と評価いただいた。「親父が『時間を買え』とよく言うんです。『機械に投資をして時間を生み出さなければいけない』と。今のほ場の規模では少しオーバースペックですが、余力を残した状態で仕事することがベスト。これが将来に向けての伸びしろにもなります」。

課題は作物のコントロール 昨年の反省を活かして次に挑戦

夏の出荷を目指して機械化一貫体系を整えたものの、昨年は早い時期から暑くなり、夏前には一発肥料が溶けてしまったため、生育が足りず夏の収穫を諦めることになった。光陽氏は「肥料が多いと生理障害を引き起こしやすくなるのでためらってしまいました」と昨年を省みる。幼い頃から手伝っていた水稲であれば、多少のトラブルも想定内の範囲内だがねぎは未経験からのスタートなので、試行錯誤しながら解決策を見出しておられる。今年は、昨年1haにまで拡大したほ場を0.8haに減らし、収量よりも利益率アップに重点を置くと言う。「一発肥料の基本的な体系は変えませんが、作物に振り回されるのではなく、面積を抑えて自分の力である程度コントロールすることが今年の課題です」と前向きだ。3haまではほ場を拡大することもできるが、まずは「地に足を付けたい」と話す光陽氏。労力と収益のバランスをにらみながら、持続的な経営を目指しておられる。

親子で同じ方向を見つめ 夢に向かって着実に前進

辰男氏は、奮闘する光陽氏に対してあれこれと口出しはしない。ただ、東京で会社員をしていた頃は、帰省のたびにいつか農業を始めるのかを心待ちにしている様子だったそうだ。「機械の更新時期になると『お前がやらないなら、使い古して終わるぞ』と言うんですが、次の帰省時には新しい機械に入れ替わっているんです」と笑う光陽氏。辰男氏の期待は大きいようだ。光陽氏もまた、農業にやりがいを感じておられる。「タネを播いた時点では、うまく作物が育つのかはわからないし、いい時期に出荷できるかもわからない。賭けのようところもありますが、自分次第で出せる結果を変えられるところが面白いですね。会社員として仕事をするよりも、魅力があると私は思います」。今後のビジョンをうかがうと「将来的に親父の水稲も引き継いで経営を統合したら、ねぎの収益で水稲の経費を全て賄って、水稲の売上はほとんど利益として確保できるようにしたいと思っています」と語ってくれた。水稲は50haへ、ねぎは3ha

への面積拡大も目指されている。「ただ、面積よりも利益を拡大できるビジネスモデルを考えていきたいと思っています。親父も同じようなことを言っていました。最近になって一理あるなど感じていました。拡大志向より向上志向。これは親父との共通認識ですね。現状維持はありません。今年よりも来年もっと良くなるようにと思わないと、維持すらできないので」。

現実を見極め、向上心を持って前進する辰男氏の考えを、経営者の立場になった今改めて実感している光陽氏。親子で同じ方向を見つめながらも、将来の経営統合を目標に、ご自身の夢の実現に向かって一歩ずつ歩んでおられる。

(取材・文 山本佳弥)



収穫を迎える秋冬ねぎ。今年は春・夏の収穫に向けて、周到な作付計画を立てておられる。

ねぎの収穫作業の省力化に貢献!

ねぎ栽培の規模拡大に向け、収穫作業時間を短縮。

ねぎ収穫機
HL10
1条掘り

HPIはコチラ

工具不要でコンパクト収納が可能

- うね崩し
- 掘り取り
- 搬送
- 土落とし
- 集束・結束

ヤンマーオンラインセミナー 密苗相談会 見どころ PICKUP

皆様の質問にお答えします！

昨年秋に開催され、密苗導入を検討中の方にも、すでに導入済みの方にもご好評いただいたオンラインセミナー「密苗相談会」。今回は、その見どころをご紹介します！



密苗相談会の全編は、コチラからご覧いただけます



密苗技術やメリットのご紹介

密苗栽培技術とは？

乾籾播種量が通常100g~150gのところ、250g~300gと高密度で播種することで、大幅な省力・低コストなどを実現します。種籾を高密度に播種することや密苗田植機を使用すること以外は、慣行栽培とほぼ同等であるため、非常に取り組みやすい技術です。

密苗の最新情報はコチラから



ぜひ省力化、低コストを実現する密苗をご体感ください。



ヤンマーアグリ株式会社 開発統括部 澤本 和徳

密苗の効果とは？

メリット ①
苗箱数
最大**1/3**減

播種作業、育苗管理や田植え時の苗運搬がラクになります。
苗箱数 4,500箱→1,500箱
育苗ハウス 9棟→3棟
※水稲30ha経営で、播種量を慣行100g/箱、密苗300g/箱として試算した場合。

メリット ②
苗運搬時間
最大**1/3**減

最も重労働な苗箱運搬作業や育苗ハウス面積を削減できます。
播種および苗運搬時間 195時間→65時間

メリット ③
育苗資材費
最大**1/2**減

苗箱が減るので育苗資材費を削減できます。
種籾・苗箱・培土・ハウス資材など 145万円→67万円

密苗にベストマッチな乗用田植機YR-DAシリーズとは？

小さくかき取る
ヤンマーの独自技術
植付け爪やレール取り口の幅が狭く、高密度に播種した苗箱から小面積をより精密にかき取ります。

密苗×ICTで労力もコストも最小限に
ICTで、田植えが不慣れな方でも扱いやすく、熟練者には長時間作業でも疲れにくい操作を実現。稲作の省力化・低コスト化・高精度化に貢献します。

今回は「苗量アシスト」に焦点を当ててご紹介します。



ヤンマーアグリジャパン株式会社 農機推進部 尾浦 聖幸

4つのアシスト機能を搭載



「苗量アシスト」とは？

10aあたりに使用する苗箱数を設定すると、設定通りの量の苗を使用して植付け作業を行うことができます。さらに、行った作業の面積と苗箱の使用枚数がディスプレイで確認できるので、作業効率の管理にも役立ちます。

Voice 苗量アシストを体験されたお客様の声

これまでは経験から植付け枚数を調整していたので、苗量アシストによって植付け枚数がピッタリとおさまるのは最高ですね。余分につくる苗の量が抑えられ、労力もコストも削減できたと感じます！



実際の声はコチラ

乗用田植機 直進アシスト仕様®
YR 5DA/6DA
5条植え 6条植え
7DA/8DA
7条植え 8条植え

※YR5DAは、ディーラーオプション

SMARTPILOT



HPはコチラ



苗量アシスト動画はコチラ

ヤンマー社員の澤本・尾浦・三瓶が

皆様からのご質問・お悩みごとに回答します。

安心して密苗に取り組んでいただきたい！という思いでお答えします。

播種編

Q 密苗で対応できる品種に限りはありますか？また、どの品種でも有効ですか？



A 日本国内のほとんどの品種、主食用・酒米・飼料用米など、合わせて60品種以上で密苗栽培が実施されており、その上でこの品種は対応できないといったことはありません。ただし、品種選択のうえで以下の4つの事項について留意してください。

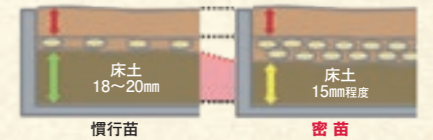
- 寒冷地では成熟の晩限にご注意ください。慣行苗に比べて成熟期が遅れる傾向があるため、成熟の期間を確保できるかスケジュールをご確認ください。
- 短い育苗期間で田植機に対応する苗文を確保したいので、伸びにくい品種にはご注意ください。
- 播種量が同じでも、籾サイズが大きい品種では種籾数が少なくなるため、播種量に注意が必要です。
- 大粒品種、長粒品種は、種子ホッパーからスムーズにかつ均一に種籾が出ているかご確認ください。

Q 苗の床土は慣行の培土と同じで大丈夫ですか？



A 育苗培土は、慣行苗と同様のものが使用可能です。軽量培土もご使用いただけますが、培土の組成によっては覆土が持ち上がりやすくなる場合があるため、試し播きでご確認ください。

【苗箱断面イメージ図】



POINT

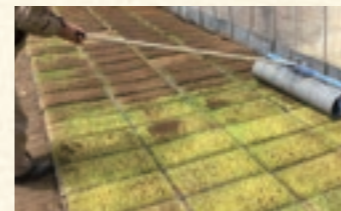
水を含むと固く締めやすい培土を使用すると、覆土が持ち上がりやすいため避けてください。また、覆土が箱からあふれる場合は床土の量を減らし、覆土の量は慣行と同様の量にしてください。

育苗編

Q 根上がり、覆土の持ち上げがあった場合の対処方法はありますか？



A 5~7日おきに朝、育苗ローラーをかける方法がおすすめです。密苗の場合、播種量が多いため覆土の持ち上がり現象が発生しやすくなります。従来であれば散水して土を落ち着かせていましたが、育苗ローラーなら土落としも兼ねて徒長しにくい苗を育てることができます。



POINT

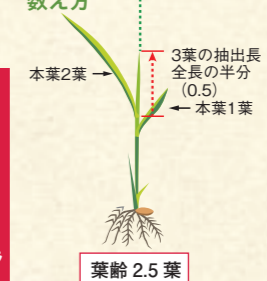
午前中に土を乾かしてから育苗ローラーがベストです。2回目以降は朝露がある状態でも可能です。苗を鍛えることで、葉先がきれいに揃い、葉肉が厚く根張りの良い密苗ができます。

Q 葉齢はどう数えるのですか？また、密苗でよく聞く「2.0~2.3葉期」はどんな姿ですか？



A 葉身をもたない不完全葉の次葉を1葉とします。完全展開した葉の枚数に、抽出中の葉の完全展開のうち10分のいくつ分出ているかを加えた数を葉数としています。

葉齢の数え方



密苗の目標とする苗姿
本葉の葉齢2.0~2.3葉



苗づくりのポイント詳しくはコチラ

移植編

Q 今まで乾籾100g播種苗に対して、箱施用剤散布機で50g/箱で散布していましたが、乾籾300g播種苗にしましたが、50g/箱を超えて散布しても大丈夫ですか？



A 使用される農業の登録内容によります。農業取締法により規定量を超えて施用することはできませんので、ご使用の薬剤に記載されている使用量などを厳守してください。

密苗にベストマッチの側条施肥機 CPシリーズがおすすめです！

側条施肥機は、田植えと同時に、10aあたり1kgの薬剤を水田の土の中に埋め込む方法です。苗箱枚数に関わらず一定の量が散布でき、苗のそばに薬剤を埋め込めるため、薬効も確保できます。



詳しくはコチラ

Q 移植後から収穫までの期間は慣行と異なるのでしょうか？中干しや刈り取りのタイミングは慣行と比べてどのように変化しますか？



A 密苗は若い苗を植えるため、同じ日に移植した慣行の苗に比べ、出穂期、成熟期が1~3日遅くなります。少し生育すると見た目や、最高分げつの茎数、成熟期の穂数も慣行と同様になります。管理作業においては慣行と同様、中干しは必要茎数の確保を確認してから実施すること、収穫は籾の黄化程度などにより判断し、適期に実施することに留意してください。

大和田順子教授に聞いた 日本の世界農業遺産に学ぶ 農業の未来を 育むヒント

世界的に重要な伝統的農林水産業を営む地域として、FAO(国連・食糧農業機関)によって認定される「世界農業遺産」。2023年1月現在、世界で72地域が認定されており、そのうちの13地域が日本にあります。

認定されるに当たっては厳しい基準があり、それらをクリアするため、また認定された後維持・成長させるために地域が取り組んだ活動には農業の未来を切り開くためのヒントが多く刻まれています。

今回は、世界農業遺産専門家会議の委員として長らく活躍されていた大和田順子教授に「世界農業遺産」に学ぶ農業の未来を育むためのヒントをうかがいました。



同志社大学政策学部 教授 大和田 順子

東京生まれ。東急総合研究所などでマーケティングのキャリアを積んだ後、独立。2002年、アメリカで出会った「LOHAS」を日本で初めて紹介する。2014～2020年世界農業遺産専門家会議委員として活躍。2022年『ふるさとづくり大賞』個人表彰 総務大臣賞を受賞。主な著書に『アグリ・コミュニティビジネス』などがある。

く、農山村部でも地元の農業や産業の素晴らしさに気づいていない方は少なくありません。まずは多くの人に知ってもらい、関心を持ってもらうことが大切です。農業をよく知る農家の皆さんが、自分たちの地域や取り組んでいることの素晴らしさを人々に伝えようとするのが何よりも力を発揮します。皆さんが当たり前のように見ているもの、やっていることの中に眠っている宝物(遺産)を掘り起こしてみませんか。

もし、当たり前すぎて宝物に気づけない方がいらっしゃったら、ぜひ各地の世界農業遺産に足を運び、自分たちに当てはめて考えてみてください。自分たちの地域の個性や取り組んできたことの素晴らしさ、守らなければならないものに気づけると思います。農業の未来を切り開くには、農家の皆さんの農業に対する思いこそ、一番の原動力になると考えます。

Hint.01 まずは、自分たちの 地域の価値に気づくこと

講演会などでよく「世界農業遺産に認定されると、どんないいことがあるのですか?」と聞かれます。そんな時私は真っ先に「自分たちの故郷に誇りと自信が持てることです」とお答えします。もちろん世界に認められたからこそこの誇りもありますが、たとえ認定されなくても、申請に向けて自分たちの地域のことをあれやこれやと見直す中で、知らず知らずのうちに育まれる誇りや自信もあります。そして申請に関わった皆さんが得た誇りや自信は、周囲の人々にも波及し、新たな活力となります。

ご存じの通り農業には様々な課題があります。食料自給率の低さ、就農人数の減少と高齢化、耕作放棄地の増加。解決策としてはスマート農業などによる効率化やCSA(地域支援型農業)、産消提携などが考えられますが、要となるのは人々の農業に対する関心と理解です。都市部だけでな

Hint.02 世界農業遺産に当てはめて考える ～地域の価値を見つけよう～

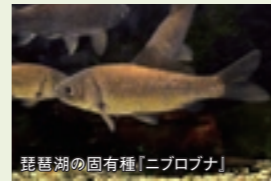
Hint.01で世界農業遺産に当てはめて考えることを提案しましたが、農業と一口に言っても環境や状況が違えば当てはめるのは難しいかもしれません。そこで世界農業遺産に認定されるためのポイントをまとめてみました。ぜひ、ご自身の地域や取り組みの価値を見つけるヒントにしてみてください。

1 生物多様性の保全と回復「ネイチャーポジティブ」

例 滋賀県琵琶湖地域 (2022年世界農業遺産認定)

生物多様性の保全と聞くと、手付かずの自然を想像する方もいらっしゃるかもしれませんが、単に自然を放置したのではネイチャーポジティブとは言えません。生物多様性は、人の営みと自然との相互作用で保全、回復させることができると言われています。そのためには、森里川海(湖)のつながり、循環を保全し回復させることが重要です。

例えば琵琶湖の固有種「ニプロブナ」は、『魚のゆりかご水田』と呼ばれる湖畔の水田に守られています。春、産卵期を迎えると水路を遡上し水温の適した水田で産卵。生まれた稚魚は、餌が豊富で敵の少ない水田で過ごし、少し大きくなったら琵琶湖へと戻って行く、まさに湖・川・里連携の申し子です。



2 幸せを感じる美しい「ランドスケープ」

例 石川県能登地域 (2011年世界農業遺産認定)

長年にわたる人と自然との相互作用によってつくり上げられた美しい景観もまた大切な要素です。その最たる例が『里山』。その景観は、暮らす人々だけでなく、外からやって来てくださる人々の心をも癒し、地域に賑わいと活気をもたらします。



例えば能登地域では、日本海に面した急傾斜地に広がる棚田や、白壁・黒瓦の家並み、間垣(竹の垣根)などが、日本の農山漁村の原風景として多くの観光客の心を癒しています。

Hint.03 地域の価値を可視化し、発信する

農家の皆さんがご自身の地域や取り組みの素晴らしさに気づき人々に伝えたいと思えば、次は可視化することをおすすめします。地域を紹介するホームページをつくってもいいし、パンフレットでも、SNSでもいい。もちろん外へ発信することが目的ですが、地域の情報を整理する中で、取り組むべきことや新たなビジネスチャンスが見えてきます。

例えばツーリズム。牧歌的な風景を求めてやって来てくださるお客様に地元の料理を振る舞って喜んでいただいたり、『農泊』もいいですね。農水省も『農泊』を推進していて支援制度もあります。もちろん目的は農業を知っていただくことですから、農業体験などで地域の魅力や農業の重要

3 地域の伝統的「知識システム」

例 宮城県大崎地域 (2017年世界農業遺産認定)

天候、土壌、地形。自然は必ずしも農業に優しいとは言えません。電気も重機もない時代から灌漑をしたり、土壌や気候を読み解き、その地に合った作物をその地に合った方法で育ててきた伝統的な農業システムは、自然と共存してきたからこそ今も残る、持続可能な農業システムとして見習い、継承すべき財産です。

例えば宮城県大崎地域の水管理システムは、伊達政宗の時代から続くもので、洪水や渇水から暮らしを守るため、取水堰や隧道、ため池、用排水網を設け、『契約溝』と呼ばれる地縁組織によって巧みな水管理が行われてきました。



4 地域固有の「社会組織」と「伝統文化」

例 宮崎県高千穂郷・椎葉山地域 (2015年世界農業遺産認定)

農業は、人々が協力し合うことで成立してきました。水を分けあったり、力を合わせて獣害から作物を守ったり、みんなで工夫に工夫を重ねてきた物語はどの地域にもあると思います。そしてできたコミュニティでは、共に豊作を祈ったり感謝する祭りが生まれ、食文化が育ち、地域固有の伝統文化が生まれます。

例えば宮崎県の椎葉村は、険しい山間部にあるため、暮らしは山と共に培われました。そして生まれたのが『焼畑農業』です。1ha程度の山を焼き、1年目はそば、2年目はヒエ・アワ、3年目は小豆、4年目は大豆を育てたら畑を閉じ、そこに山の動物たちの餌となる栗やクヌギなどを植え、30年程度かけて元の山へと戻します。この約30年サイクルの計画は、みんなで力を合わせながら古代(一説には縄文時代)から脈々と続いてきました。



また椎葉村では、豊穰を祈って「神楽」が奉納されます。舞うのは神職の方々ではありません。農家の皆さんが持ち回りで担当し、子供たちもまた手伝いを通して、故郷の伝統を学び次世代へと受け継いでいきます。共に山を焼き、畑を耕し、祭りを運営する中で独自の文化と強固な社会組織が育まれてきました。



性を伝えてください。興味を持っていただければきっと広めてくださいます。またローカルフードシステムも注目すべき取り組みです。地域の食を地域が支え、地域の生産者を地域が支えるシステム。例えば給食を地元食材で賄うことで子供たちの食の安全が守られ、公共に買い上げられることで生産者の収入も安定します。実際、千葉県のみすみ市では小中学校全ての給食を地域で採れた有機米にすることを実現しています。最後になりましたが忘れてはならないのがカーボンニュートラルです。地域の価値を見直す中で守らなければならないものに気づければ、きっと自分たちに合ったカーボンニュートラルへの取り組み方が見つかるはずです。農業を人々に伝えることは、地域を潤すだけでなく、地球温暖化や食料不足を解決するための足掛かりでもあります。だからこそ農業は宝物であり、世界の遺産にもなり得るのだと私は思います。



ヤンマーのサービスマンが行く!!

GO! GO! YANMAR SERVICE MAN

[ヤンマーのサービスの取り組み編]

ご愛用機で安全な農作業を行うための

メンテナンスと格納時のポイント(トラクター作業機)

トラクター作業機の性能を活かすためには、日々のメンテナンスは欠かせません。

そこで今回は「ロータリー」・「フロントローダ」・「ブームスプレーヤ」の3種類の作業機について、メンテナンスのプロであるヤンマーのサービスマンが、セルフメンテナンスのポイントをご紹介します。



私をご紹介します!

2021年度
ヤンマープロフェッショナル
サービスコンテスト受賞

東北支社
青森ブロック甲地支店
佐々木 健二

作業前・作業後のメンテナンスについて

ロータリー

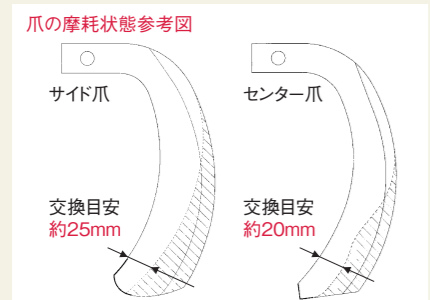
①ロータリーの作業前・作業後の点検箇所について教えてください。

②快適な作業を行うために作業前は、オイルの量と汚れの確認、そしてオイル漏れに注意してください。またスムーズに動かすため、回転部分



オイル量は、検油ゲージを使って正確に確認しましょう。

作業後は耕うん爪の摩耗を確認しましょう。爪が摩耗していると、耕うん性能が低下し燃費も悪くなります。ロータリーの両サイドとタイヤ跡を通る爪は比較的摩耗が早いので、特に要チェックです。また、取付ボルトがゆるんでいないかも確認してください。



③点検やメンテナンスでお客様からよく質問されることはありますか?

④多い質問は「ロータリーを買った時の爪は長持ちしたのに、交換してから摩耗が早くなった

気がする。買った時と同じ爪が欲しい」ということです。それは爪というより、ロータリーカバーの内側に土が付着していることが原因だと考えられます。こまめに掃除することで改善が期待できますよ。



ロータリーカバーの内側の土はきれいに落としましょう。

フロントローダ

①フロントローダの作業前・作業後の点検箇所について教えてください。

②スムーズな作動のために、作業前はフロントローダのグリスの状態や、油圧ホースの劣化(ひび割れなど)、油圧シリンダーのオイル漏れの確認をしてください。

操作レバーの動作確認も大切です。ニュートラル状態に戻らなければ、レバー操作した時にローダが止まらない危険性もあります。

③グリスアップは年に何回ぐらい行えばいいですか?

④グリスアップは春作業や秋作業後、半年に一度ぐらいの割合で行うことをおすすめします。ただし、グリスアップをしすぎてもオイルまみれに



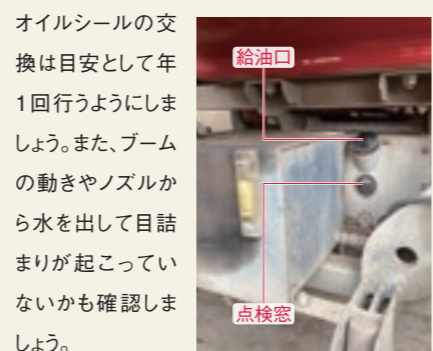
グリスアップはグリスガンで、グリスニップルにしっかり押し当てて行います。

なってしまうので注意が必要です。動かした時に音がしてきたらグリスアップのサインです。

ブームスプレーヤ

①ブームスプレーヤの作業前・作業後の点検箇所について教えてください。

②作業前は農業用高圧ポンプ(動噴)のオイル点検窓からオイルの量と色を確認します。色が白い場合は水が混入しているので、オイルシールの交換が必要かもしれません。



作業後はノズルに詰まりなどが起こらないように水で洗い流すことが大切です。

③他に、気をつけておくことはありますか?

④作業中に水漏れがないか注意しておきましょう。薬液タンクやポンプ、ホースの接続部、ブームの途中から水漏れる場合がありますので、作業後、薬液タンクに水を溜めて圧力をかけて確認してください。また、吸入ストレーナに詰まりがないかも点検しておきましょう。



ホースの接続部

吸入ストレーナ

各作業機の格納時のポイントについて

※点検作業を行う際は、取扱説明書をご確認ください。

ロータリー

- 1 格納する前に、土や肥料などの汚れを落とすこと。ビニールの絡みや、オイル漏れなど機械の異変に気づくことにつながります。
- 2 塗装が剥がれてきたら塗り直すこと。サビの広がりを防ぐことができます。
- 3 地面に直置きせずに、スタンドを使用すること。スタンドがない場合は、汚れやサビから守るため木台などを敷いて格納してください。



フロントローダ

- 1 トラクターに装着したままフロントローダを格納する際は、ローダ先端を平らな場所に接地させること。思わぬ事故を未然に防ぐことにつながります。
- 2 油圧シリンダーや油圧ホースからオイル漏れがないか確認すること。漏れがある場合は放置せず、修理を依頼してください。
- 3 取り外す時は、取扱説明書の手順を守って行うこと。取り扱いを誤ると故障の原因につながります。



ブームスプレーヤ

- 1 冬場は格納前に水抜きをしっかりと行うこと。水が残っていると凍結が起こり、パイプやノズルの破損につながる恐れがあります。※水抜きをする他に、配管内に不凍液を行き渡らせる方法もあります。
- 2 直射日光が当たる場所での保管は避けること。タンクの劣化を防ぎます。



安心して作業していただくために、こんな時はプロにご相談ください!

ロータリー

オイル漏れが起こっている

ロータリーが焼き付いて動かなくなる可能性があります。



オイルが漏れやすい場所は?

爪軸

チェンケース

爪の交換が必要

爪の配列は間違いやすく、爪の取付位置を間違えると故障の原因になることもあります。

フロントローダ

ローダが動かない、または動きが悪い

操作レバーやシリンダー部にガタが来ている状態で作業を続けていると、大きな事故につながる恐れがあります。



シリンダー部

グリスが注入できない

グリスニップルにグリスが注入できない場合は、分解して詰まりを取り除く必要があります。



グリスニップル

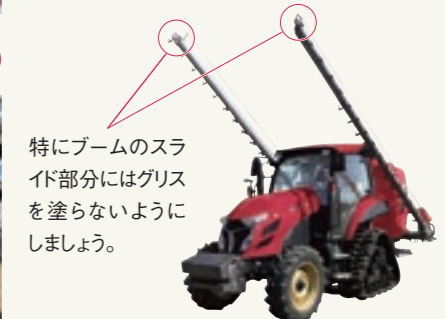
ブームスプレーヤ

ポンプやブームから異音が出る

分解して原因を調べる必要があります。

スライドブームの動きが悪い

動きが悪いからとブーム自体にオイルを塗ると、土ぼこりなどが付着してますます動きが悪くなる可能性があります。



特にブームのスライド部分にはグリスを塗らないようにしましょう。

佐々木からの一言

現場や庭先での出張修理が多いのですが「見て欲しい」と依頼された箇所以外の部分も、修理が必要な場合はご提案するように心がけています。早めに修理をしたことで、作業時期のトラブルが減ったという声もいただいています。お客様との信頼関係を積み重ねて、次からもらせていただけるようになることが一番嬉しいですね。これからもお客様に寄り添ったご提案が心がけていきますので、どんな些細なことでもヤンマーサービスマンにお気軽にご相談ください。

必要な対応を行うことで、作業機を装着したまま道路走行することが可能になりました。



お持ちのトラクターと作業機の寸法や、最高速度などを選べば必要な対応がわかるHPを公開中。道路走行に関するガイドブックもご覧いただけます。



HPはコチラ

アフターサービスサポート

お客様の大切な機械をベストコンディションで末永くお使いいただくために、ヤンマーはアフターサービスに全力で取り組んでいます。ヤンマーのアフターサービスサポートの詳しい内容はHPをご確認ください。



HPはコチラ

メーカー探訪

・ VISITING THE COMPANY ・

第13回 トンボ会メーカーや協力企業に、より親しみを持っていただけるよう知られざる一面や意外な素顔をご紹介します。

第7回までの内容は、トンボプラス10号～16号よりご覧いただけます。
第8回からの内容は、トンボクロスよりご覧いただけます。



トンボプラス HPはコチラ
トンボクロス HPはコチラ



「地球を耕す」を理念によりよい未来を切り拓く。

小橋工業株式会社
岡山市南区

取材協力いただいた方



代表取締役社長
小橋 正次郎氏



小橋工業の本社と、併設する新工場。培った熟練の技術を受け継ぎ設備のアップデートを繰り返しながら、常に革新的なものづくりに挑んでいる。

現場の隠れたニーズを拾い 革新的な製品開発を続ける

岡山県に本社を構える小橋工業株式会社は、1910年に鍛冶屋として創業し、鋤や鋤などの農業機具の製造・修理で地域の農業に貢献してきた。その後、時代の移り変わりとともに農業機具から農業機械へと開発製品を広げ、1964年には国内初的大型トラクター用ロータリーを開発。主要製品である耕うん爪を中心に、代かき機、あぜ塗り機の分野で国内トップクラスのシェアを誇る農機メーカーとなっている。

創業以来、顧客の要求や困りごとを解決することに使命感を抱き、ひたむきにものづくりを行ってきた同社。その想いは創業時から脈々と受け継がれ、100年以上が経つ今も変わらない。製品開発時には開発陣が作業現場まで赴き、ヒアリングだけでは表面化しない隠れたニーズを拾い上げる。この貪欲なまでのものづくり精神から生み出された製品は、これまで数多くの

農家の負担を軽減し、その功績によって数々の賞も受賞してきた。昨年は、土の量を自動感知して調整するあぜ塗り機を開発し、中国地方発 明表彰において「発明奨励賞」を受賞。1978年から45年連続で受賞されているというから、アイデアや技術の底力は計り知れない。

2019年には、従来品の約3倍の耐久性を持つ画期的な耕うん爪「極」を開発。交換回数を減らしコストを抑えられるという大きなメリットがあることはもちろん、長期的に使用できることから、生産時のCO₂排出削減や環境負荷の軽減にも貢献している。



耐摩耗性に優れた「極」。同社のスタンダード爪と比較して約3倍もの耐久性を持つ。

企業理念を再定義して 多角的に事業を推進

製造業でのCO₂排出削減への取り組みが活性化中、同社が今最も注力するのもまさに地球環境に配慮したものづくりだ。その背景には、2016年に4代目社長に就任した小橋正次郎氏の揺るぎない想いがある。「当社は長年、農業の生産性を高めるものづくりを愚直に行ってきました。しかし、耕作放棄地やカーボンニュートラルの実現など、生産面以外でも農業を取り巻く課題はたくさんあります。農業機械の開発や製造だけが求められる時代ではないと考えようになりました。」

この想いを原点に、2019年に企業理念は「地球を耕す」へと再定義された。「歴史が狩猟時代から農耕時代へと移り変わったのは、『耕す』ことを発明したから。これは、人類の課題を解決する最大の発明だと思っています。当社の歴史も『耕す』ことから始まっていますが、これからは

農地を耕すだけでなく、地球にある課題の一つひとつに鋤を入れ、「地球を耕す」という概念を実現していきたいと考えています」と力強く語る小橋氏。社長に就任して以来、農業機械の開発という枠にとらわれず、「地球や人類にとって良いことはなんでもやる」というスタンスで、ベンチャー企業との協業やものづくり支援など多様な事業に次々と取り組んでおられる。



企業理念には、地球の課題解決に向けて農業以外の分野にも挑戦する覚悟が表れている。

創業110年の技術を応用し ベンチャー企業を支援

ベンチャー企業との協業を推進するきっかけとなったのが、ミドリムシを使ったバイオ燃料の製造を目指すユージェナ社との共同研究である。当時ユージェナ社は、ミドリムシの培養プールの建設にあたって、コスト面で課題を抱えていた。同じ頃小橋氏は、耕作放棄地の有効活用方法を模索していたことで同社に興味を持ち、協業がスタート。培養プールの建設に耕作放棄地を活用し、小橋工業のあぜ塗り技術を応用して、当初のコストを10分の1まで圧縮することに成功した。現在はミドリムシを活用した培養土や肥料の開発にも取り組んでいる。

小橋氏はこの経験から、協業のノウハウを他のベンチャー企業へも活用できると考えた。「世界を変えるような優れた技術を持っている企業がたくさんありますが社会実装までのハードルが非常に高いんです。我々の110年の技術力を提供することで、社会にとって必要な技術の実用化を加速させたいと考えました」。2020年には、試作から量産までのものづくりを包括的に支援するKOBASHI ROBOTICSを設立し、「ものづくり支援事業」をスタート。これまでに、視覚障がい者向けの歩行ナビゲーションシステムの



培養プールはコンクリートによる造成ではなく、外周をあぜで塗り固めることでコストを削減できた。

開発や電子機器の高性能化・省エネ化を実現する新素材開発など、様々なベンチャー企業の挑戦をサポートしてきた。

こうした協業や支援は、ベンチャー企業だけでなく小橋工業にも良い影響を与えている。事業を担当する経営統括部の坂下氏は「ベンチャーならではのスピード感は私たちには大きな学びです。支援を行う中で、技術協力をいただいている取引先に技術革新が生まれることもあり、それがKOBASHIの製品の価値向上につながるという好循環も見え始めました」と話す。100年企業と若い企業とが志ひとつに交わり、学び合う対等な関係を築いているからこそ生まれる相乗効果があるのだろう。

クリエイティブな発想を生む ビジョンオフィスの設置

前向きな変化は、社内にも現れている。例えば、2020年には大きな地球のオブジェが鎮座するユニークな「ビジョンオフィス」を社内に新設した。仕切りのないオープンなスペースで、社員やパートナー企業など誰でも気軽に立ち寄り、ミーティングや休憩に使うことができる。会議などで使用しているという坂下氏は「目の前に地球があるので、自然と視点が広がります」と話す。生まれる会話も、目先のことや自社のことだけでなく、非常にクリエイティブになり、自然発生的にアイデアが生まれるという。社外の企業研修のスペースとして貸し出すこともあり、活発な意見交換が生まれると評判が高い。

2019年に爪工場を建て替えたことも、同社に大きな変化をもたらしている。エネルギー効率の良い設備への入れ替えや分散していた工程の集約などにより、生産性も労働環境も向上した。小橋氏は「メンバーが働きやすい環境を用意するのは、経営者として当然のこと。社員も手を上げて喜んでくれていますし、環境への負荷も軽減でき、何重ものメリットが生まれています」と確かな手応えを感じておられる。



開発棟にあるビジョンオフィス。部署も役職も超えたコミュニケーションが活発化している。

全社員と他企業を巻き込み 地球の課題に向き合っていく

今後のビジョンについて、小橋氏はこう話す。「農業機械の事業においては、みどりの食料システム戦略やスマート農業などに対応しながら、作業機分野においてできることを一つひとつ愚直にやっています」。

一方、ベンチャーとの協業では、ドローンの開発支援やロボットによる海底ゴミの回収プロジェクトにも取り組んでいる。

全ての事業の根幹にあるのは、「地球を耕す」という理念。「農地を物理的に耕すこともそうですが、耕す場所は陸地だけではなく空や海にもあります。私ひとりではなし得ないことなので、社員には全員に同じ価値観を理解してもらい、他企業とも連携し、一緒に地球をより良くするための行動ができる会社にしていきたい。本当に、地球環境を良くしたいという一心なんです」と熱く語る小橋氏。SDGsやサステナブルという言葉だけに留まらず、強い想いと行動力で未来を切り拓いていく。

再生エネ100%で加速するものづくり

主要製品である耕うん爪の製造工場では、2019年と2021年の二期にわたり建て替え・増床工事が行われた。鍛造や熱処理、塗装などの各工程の配置が集約されたことで生産性が飛躍的に向上し、輸出拡大にも対応できる生産能力を確保できた。さらに、ベンチャー企業へのものづくり支援の専用スペースも拡張。世界的なイノベーションの創出にも期待が高まる。また、2021年9月から工場の使用電力を100%再生可能エネルギーに切り替え、電力由来のCO₂排出量を約60%削減することが可能に。カーボンニュートラル実現に向け、ものづくり業界を牽引している。



ヤンマー学生懸賞論文・作文 入選発表会

学生の夢と希望があふれる「食農産業」への作品が集まりました!

2023年2月10日、第33回となる「ヤンマー学生懸賞論文・作文」の入選発表会をオンラインで開催いたしました。ヤンマーでは、次代を担う若者たちに農業と農村の未来について、広く自由な観点で論じてもらうことを趣旨とし「学生懸賞論文・作文募集事業」を1990年から実施。「農業」を「食農産業」に発展させる」をテーマに募集を行い、今回は論文46編、作文446編が寄せられました。応募作品には、農業を通して地域を盛り上げようとする試み、スマート農業の活用や、担い手不足の解消法、畜産の新しい提案に関する内容なども見られ、持続可能な農業を実現するために若者らしい広く自由な発想で論じていただきました。

論文の部 (上位入賞 3編)

大賞
青島 萌華さん 他5名

「情報が食べられるレストラン」
～食と農の本来の魅力の伝達と実践～



特別優秀賞
堀田 醒吾さん

廃校を活用した新規就農者拡大・
スマート農業促進の可能性



特別優秀賞
倉田 真衣さん(写真左)
佐久間 直さん(写真右) 他1名

潜在的な担い手を農業参入法人の社員に
～企業への就職で安心して就農できる未来～



作文の部 (上位入賞 3編)

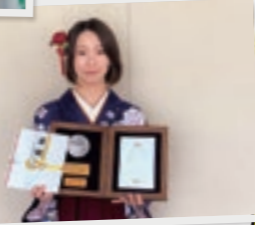
金賞
木暮 千尋さん

私の心を変えた「大きな発見」
～異国の養豚から教えられたこと～



銀賞
大井 悠愛さん

全ては
「ピーチ」から



銀賞
佐藤 匠さん

伝えたい、
林業の可能性



「第34回ヤンマー学生懸賞論文・作文」の
作品を募集します。
詳しくは、ヤンマーHPをご覧ください。

HPはコチラ



入賞作品は
こちらから
お読みいただけます。



僕はまだ何も知らない。だから知りたい。



プロジェクトサイト
MINAMINO
REPORT



HPはコチラ

世界で活躍する若きフットボーラー
南野拓実が、「A SUSTAINABLE
FUTURE— 大地・海・都市、地球と
いうフィールドで人と自然の豊かな
未来の実現に取り組むヤンマーとと
もに、サステナブルの最前線をレ
ポートするMINAMINO REPORT。」

HP公開中 #2 南野拓実の知らなかった農業の「今」。



HPはコチラ

Tombo × みんなの相棒 フォトコーナー

本コーナーにたくさんのご応募をいただき、誠にありがとうございました。
今回採用された3名様のお写真とコメントを一部抜粋してご紹介いたします。
引き続き、皆様のご応募をお待ちしております!



蒼心さま

[トラクター EG83]
1歳になる子供がトラクターを見るとすごく
喜びます。乗せてあげるとものすごく笑顔
になりハンドルを一生懸命動かしています。



浦 農産さま

[トラクター YT470]
ヤンマートラクター愛用者主人と
雨ニモマケズ、の朝倉幸男さんと一緒に!
青空の下、ステキな笑顔で😊



はらはら坊やさま

[トラクター YT345]
いつでもどこ行くにも僕も一緒と言わんばかり
にトラクター大好き。

採用された方に
もれなく
帽子をプレゼント!

写真が採用された方には「ヤンマーオリジナル帽子」をプレゼントいたします。応募メールにどちらかご希望の帽子を記載ください。



A

ニット帽
FYニットキャップ



B

キャップ
FYプレミアムキャップ

応募方法

①～⑧の項目と、写真1枚～2枚を
tombo_cross@yanmar.comまで、メールでお送りください。

※メールの送信をもって、下記の「個人情報の取扱いについて」に同意したとみなしますので、あらかじめご了承ください。
※写真が採用された方には上記のアドレスからメールでご連絡いたしますので、迷惑メールと判断されないよう設定をお願いします。



スマホで
アクセス

- 宛先: tombo_cross@yanmar.com
- 件名: みんなの相棒
- お名前(ニックネームでも可)
- 写真の商品と型式名
- 希望する帽子
- 思い出やエピソード
- プレゼント送付先(氏名・住所・電話番号)
- メールアドレスを入力もしくは、二次元コードからアクセス
- 件名「みんなの相棒」と入力
- お名前もしくはニックネームを入力
- 商品と型式名入力(例:トラクターYT488A)
- AかBのどちらかご希望の商品を入力
- 写真に関連するコメントをひと言お願いします ※写真だけの応募でもかまいません
- プレゼント送付先を入力
- 写真を添付 ※写真は1点につき10MB以内

各種の個人情報(氏名・住所・電話番号・メールアドレス)は、応募受付および当選者への連絡、プレゼント発送の連絡に利用いたします。当社は、原則として、ご本人への承認なく上記目的以外に個人情報を利用または第三者に提供しません。ただし、当社は個人情報の取扱い業務の一部または全部を外部委託することがあります。原則として本人に限り、「個人情報の利用目的」の通知、登録した個人情報の開示、訂正、追加または削除、利用停止、ならびに第三者への提供の停止を求めることができます。その他、ヤンマーグループ会社のプライバシーポリシーを確認いただき、内容にご同意の上、ご応募をお願いいたします。

皆様の農機のお写真と
エピソードを大募集!

皆様の相棒ともいえる農業機械の写真と、相棒との思い出やエピソードを募集しております。
写真が採用された方には、「ヤンマーオリジナル帽子」をプレゼントいたしますので、ぜひご応募ください!



人と未来を咲かせる、
出会いと挑戦の場所

YANMAR TOKYO

1月13日 東京 八重洲にオープン



HANASAKAのロゴマーク
桜の花を表現し、ヤンマーのブランド
マーク「FLYING-Y」と組み合わせ
てできています。



人と未来の可能性を育む複合施設 「YANMAR TOKYO」

2023年1月13日、クリエイティブディレクター佐藤可士和氏監修のもと、大人から子供まで学び・楽しむことができる、地下3階・地上14階の複合施設として東京八重洲にYANMAR TOKYOをオープンしました。
YANMAR TOKYOは、創業以来受け継がれてきた価値観「HANASAKA（ハナサカ）」の輪を広げる拠点のひとつとして、環境負荷低減に向けた取り組みや、魅力ある食文化の創造を通じて、挑戦し続けるよるこびを発信し、社会に向けて広げていくことを目指しています。

YANMAR TOKYOに
ついてはコチラから



ヤンマーらしさの象徴「HANASAKA」を発信

「HANASAKA」とは、人の可能性を信じ、挑戦を後押しするという、ヤンマーの価値観です。
YANMAR TOKYOでは、この価値観のもとに取り組みされている、幅広い文化醸成活動や、日本の食文化であるお米の魅力をご体感いただけます。

HANASAKAに
ついてはコチラから



HANASAKA STAND (地下1階)

HANASAKAを体現する人やその活動を、映像や展示物を通じてご体感いただけます。



HANASAKA SQUARE (地下1階)

訪れる人と人がつながり温かな交流が生まれることを目指したパブリックスペースです。



ヤンマー米ギャラリー (1階)

米づくりの歴史と今を学び、未来のカたちについて考えるきっかけを提供する、デジタル技術を活用した体験型ギャラリーです(入場料無料)。



お米の新たな可能性を咲かせるこだわりの店舗

「美味しさのターミナル」をコンセプトにした複合施設など、地下1階から2階の商業フロアの各店舗で、楽しみながらお米や食の魅力をご体感いただけます。
2階にある「Asterisco」は、放送作家・プロデューサーの小山薫堂氏監修、La Brianza(ラ・ブリアンツァ)オーナーシェフの奥野義幸氏がプロデュースするお米と楽しむヤンマー直営のイタリアンレストランです。

「YANMAR TOKYO」ビル概要

地下1階でJR東京駅、東京ミッドタウン八重洲、ヤエチカと直結。 3F~14F：ヤンマーグループ、オフィステナントフロア
所在地：東京都中央区八重洲2丁目1番1号 地下1F~2F：商業エリア、ギャラリー、イベントスペース
地下3F・地下2F：駐車場

トンボ会メーカー いち押し商品

TOMBO MAKER ICHIOSHI



トラクター作業機から周辺機器、農業設備・施設まで、
トンボ会メーカー各社から届けられた「新商品」「話題の商品」など
これはいち押し! といえる商品をご紹介します。

トンボ会 メーカー名

ヤンマーと、トンボ会メーカーを含む協力メーカーの
技術やノウハウによってこれからの日本農業に
プラスになるソリューションを提案いたします。

株式会社IHIアグリテック	三陽機器株式会社
株式会社アグリアタッチ研究所	静岡製機株式会社
アグリテックノサーチ株式会社	株式会社ジョーニシ
有光工業株式会社	スガノ農機株式会社
株式会社石井製作所	鋤柄農機株式会社
株式会社大竹製作所	株式会社スズテック
株式会社岡山農栄社	株式会社タイガーカワシマ
株式会社小川農具製作所	株式会社タイショー
金子農機株式会社	株式会社太陽
川辺農研産業株式会社	株式会社タカキタ
カンリウ工業株式会社	株式会社デリカ
キャニコム	株式会社藤木農機製作所
旭陽工業株式会社	松山株式会社
株式会社啓文社製作所	株式会社丸山製作所
小橋工業株式会社	株式会社やまびこ
株式会社ササオカ	株式会社山本製作所
株式会社ササキコーポレーション	和同産業株式会社

(五十音順)

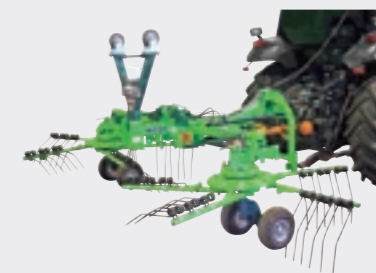
トンボマーク



TOMBOマークは一筆書きで表現した「トンボの体」と、無限大(∞)を形どった「目」によって構成されています。
トンボの目は360°全方向が見え視野が広いことから「先見性」を、無限大は「大なる発展の可能性」を表現しています。また、一筆書きの「トンボの体」は、トンボ会メーカーとヤンマーとの「つながり・一体感」を表現しています。

飼料作関連 [牧草・稲ワラの集草]

ジャイロレーキ (直装2ロータ) MGR4200



道路走行対応
灯火器などを
標準装備!

YTトラクターとの
ベストマッチポイント
無段変速で最適速
度が設定でき、キレ
よく集草。

※写真は試作機です。実際の商品とは異なる場合があります。

直装タイプの2ロータ式ジャイロレーキが登場!

- 往復集草の必要がないので、作業効率が向上します。
- 作業幅は4段階に変更が可能です。
- 機体を持ち上げるだけで移動形態になる機構により、スムーズに移動ができます。

型式	MGR4200
適応トラクター (PS)	45~100
全長×全幅×全高 ^{※1} (mm)	2700×3760~4260(2100)×1650(2500)
作業速度 (km/時)	3~12
作業幅 (mm)	3650/3810/3990/4150
メーカー希望小売価格 (税込)	¥1,870,000

※1:()内は移動時の寸法です。

株式会社IHIアグリテック

畑作関連 [うね立て・マルチ]

2P用可変平高うね整形ロータリー + 平高うねハイマルチ VER15D-GK13/16 +R318DE



VER15D-GK

R318DE

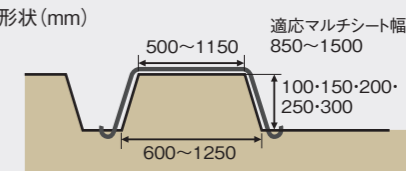
GKトラクターに合う軽量型専用ロータリー

- ハンドル1本で土量調整が簡単にでき、ほ場に合わせた最適うねづくりができます。
- 平高うねハイマルチは、調整作業が簡単に行えます。
- 小うね/平うね(マルチ)用もあります。

型式	VER15D-GK13	VER15D-GK16	R318DE
適応トラクター	GK13・14/Ke13・14	GK16・18/Ke16・18	—
全長×全幅×全高 (mm)	1140×780×1080	1690×1280 ^{※1}	—
機体質量 (kg)	110	23	—
メーカー希望小売価格 (税込)	¥410,960	¥105,820	—

※1:全長はマルチアームを上げた時、全高はマルチ作業時の寸法です。

■うね形状(mm)



株式会社アグリアタッチ研究所

畑作・飼料関連 [施肥同時播種]

クリーンシーダ

NTP-6AFP/8AFP



YTトラクターとの
ベストマッチポイント

高速作業&高精度
点播で作業効率が
格段に向上!



最大8km/hの高速播種で、作業効率が大幅アップ!

- 稲、麦、牧草、大豆、デントコーンなど、幅広く対応しています。
- 「種子分離」と「放出」のダブル播種プレート採用で、欠株の少ない高速・高精度点播が可能です。
- 施肥部は車速連動モータを採用。ムラのない施肥を実現します。

型式	NTP-6AFP	NTP-8AFP
適応トラクター (PS)	60~	80~
条数 (条)	6	8
種子ホッパー容量 (L)	15×6	15×8
肥料ホッパー容量 (L)	140×2	160×2
適応種子	稲、麦、牧草、大豆、デントコーンなど	
メーカー希望小売価格 (税込)	¥4,400,000	¥5,610,000

※最大車速は株間設定やほ場条件などによって異なります。

アグリテクノサチ株式会社

管理作業 [防除]

静電ノズル

AES-02LH



農薬の付着率が向上!人気の静電ノズルが新登場。

- 新・静電ノズルで葉裏までしっかり散布します。
- 立体作物から平面作物まで、様々な作物に対応しています。
- 新型静電機構により付着率が向上。また、専用工具を使わずメンテナンス性が向上しました。

型式	AES-02LH
機体質量 (電源ボックス含む) (kg)	約1.2
ノズル	2頭口
使用圧力 (MPa)	1.0~3.0
流量 (D.1.0) (L/分)	1.4~2.4
バッテリー (付属品)	単三乾電池4本
メーカー希望小売価格 (税込)	¥121,000

有光工業株式会社

乾燥・調整 [運搬]

ライスホルダー(吸着パット式)

RHL-CPシリーズ



PHL20CP

動画はコチラへ



簡単操作で、米袋の移動がラクに素早くできる!

- 吸着パットが米袋に吸いつくので、ガッチリ保持して移動できます。
- 紙製の米袋だけでなく、ビニール製の肥料袋なども保持することができます。
- 定置式と、鉄骨に固定する壁掛け式があります。
- 既存のライスホルダーに取り付け可能な、吸着パットと真空ポンプのみのセットもオプションでご用意しています。

型式	RHL20CP	RHL24CP	RHL30CP
仕様	定置式	壁掛け式	壁掛け式
機体質量 (kg)	365	50	54
作業半径 (mm)	約2000	約2400	約2930
チェーンブロック	100V 300W		
真空ポンプ仕様	三相200V/1.1kW		
最大吊り荷重 (kg)	35		
メーカー希望小売価格 (税込)	¥1,100,000	¥903,100	¥926,200

株式会社岡山農栄社

畑作関連 [うね整形]

台形3うね成形機 +ポイントマーカー

KSDL-301 (R)+PMS-301



YTトラクターとの
ベストマッチポイント

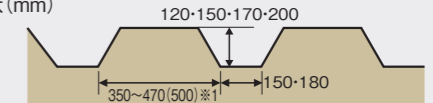
土の抱き込みが少なく
作業負荷を低減!

きれいなうね立てと同時に、しっかりマーキングができる!

- 成形部ワンタッチ差込み機構(カチャスポ)で、成形部単体の脱着が簡単にできます。
- 土の抱き込みが少なく、作業負荷が低減される機構を採用しています。
- 安定性の良い広幅鉄尾輪の装備で、成形機本体の沈み込みを防止します。

型式	KSDL-301	KSDL-301R	PMS-301
うね数	3		
適応ロータリー幅 (mm)	1800~2000	1700~2000	—
メーカー希望小売価格 (税込)	¥347,160	¥374,880	¥169,400

■うね形状 (mm)



※1:()内は、うねみぞ幅が150時のみ適応です。

株式会社小川農具製作所

稲作関連 [籾搬送]

搬送コンテナ LコンYOUNG

LZ1M4-BVK3



全型式にオートストップを標準装備!

- フレキシブルホースで、後方180度に排出が可能です。
- ホースの摩耗を防ぐ、空転センサー付きです。
- 電源スイッチを前面に配置しているので、ラクにスイッチの入切が行えます。
- 使用後は折りたたんで、省スペース収納が可能です。

型式	LZ1M4-BVK3
全高×全長×全幅 (mm)	1150×1700×1300
機体質量 (kg)	86
所要電力	単相100V 400W
容量 (L)	1250(コンバイン袋27)
排出能力 (t/時)	5~6
メーカー希望小売価格 (税込)	¥282,700

株式会社石井製作所

稲作関連 [除草]

水田乗用型除草機 のるたんJJ

JJ-1



動画はコチラへ



8条田植機に適應する9条の除草機が新登場!

- 「歩行型除草機+ちよい乗り」に必要な機能のみを装備しています。
- 軽量かつコンパクト設計、スリムな車体でターンもラクラクです。
- ほ場を荒らしづらいスリムな後輪で、土の持ち上げも少量です。
- 車体は分割できるので、軽トラックへの積載も可能です。

型式	JJ-1-530	JJ-1-730	JJ-1-930
	5条	7条	9条
全長×全幅×全高 (mm)	2530×1470×1170	2530×2070×1170	2530×2670×1170
機体質量 (kg)	79	81	87
適応条数 ^{※1} (条)	4	6	8
適応条間 (cm)	30		
作業速度(前進) ^{※2} (m/秒)	0.7		
作業能率 ^{※2} (a/時)	21	25	33
メーカー希望小売価格 (税込)	¥770,000	¥803,000	¥913,000

※1:適応条数は田植機の条数を示します。
※2:前進の速度・能率であり、後進はできません。

株式会社大竹製作所

稲作関連 [穀物乾燥 [籾・麦]]

遠赤外線乾燥機 NEWレボリューション

KWC350-XN



SA
SMARTASSIST
連携対象機種

高品質な仕上がり
営農プロ仕様乾燥機!

- 遠赤全粒照射で一粒一粒を均一に乾燥します。汎用乾燥機として用途の拡張も可能です。
※別途オプションが必要です。
- 左右側板にはラッチ式点検蓋が付いており、ラクに掃除・点検が行えます。
- 機体全高が約60mm低くなりました(当社比)。

型式	KWC350-XN
全長×全幅×全高 (mm)	3389×1505×4180
処理量 (kg)	籾:800~3500 ^{※1} 小麦:960~4200 ^{※2}
毎時乾減率 (%/時)	籾:1.0~1.2 小麦:0.8~1.0
メーカー希望小売価格 (税込)	¥2,517,900 ^{※3}

※1:560kg/㎡時 ※2:680kg/㎡時
※3:据付工事費込みです。

金子農機株式会社

畑作関連 [ねぎの収穫]

トラクター用ネギ掘取機

N-305AL



YTトラクターとの
ベストマッチポイント

無段変速で、すばやく
最適な作業速度に
き作業効率アップ!

さらに強度がアップ!カワベ伝統の頑丈構造。

- ハンドル操作により、掘取部のスライドが可能。ねぎのうねにピタッと合わせられます。
- 振動式なので、根に付着した土を振り落とします。
- ワンタッチで掘取部を内側に反転格納することができ、ほ場間の移動も安心です。

型式	N-305AL
全長×全幅×全高 (mm)	800×1630(作業時最大)×990
適応トラクター (PS)	25~40
機体質量 (kg)	113
メーカー希望小売価格 (税込)	¥544,500

川辺農研産業株式会社

稲作関連 [精米]

一回通し型精米機

SR2263E



3馬クラス最速!高機能・低温精米モデル。

- 最速の精米を低温で仕上げ、お米に加わる負担を軽減します。
- 白米上面受装置により、仕上がりが米を袋で受け取ることができます。
- アミに残った米をエアーの力で排出する残留米除去装置付き。メンテナンスも容易に行えます。

型式	SR2263E
全長×全幅×全高 (mm)	610×1170×900
機体質量 (kg)	84
タンク容量 (kg)	玄米30
使用モータ	三相200V/2.2kW
精米能率 (kg/時)	220~240
メーカー希望小売価格 (税込)	¥311,300

カンリウ工業株式会社

管理作業 [草刈り]

ラジコン式草刈機 アラフォー傾子 CG271HC



傾斜に特化したラジコン式草刈機。

- クローラが左に200mmスライド。安定を確保し、斜面での転倒を防止します。
- 刈取部が路面の凸凹に追従し、きれいな刈跡を実現します。また、刈取部が左に200mmスライドするので、安心してクワ刈りができます。
- 高出力エンジンとモア軸直駆動で、パワフルな草刈りができます。
- ダウンカットで飛石などが抑制され、オペレータのストレスを軽減します。

型式	CG271HC
全長×全幅×全高 (mm)	2320×1275×905(1220) ^{※1}
機体質量 (kg)	720
刈幅 (mm)	1100
最大傾斜角 (度)	左45
メーカー希望小売価格 (税込)	¥4,950,000

※1:()はアンテナを立てた時の寸法です。

キャニコム

管理作業 [草刈り]

オフセットモア

OMF151シリーズ



YTトラクターとのベストマッチポイント
安全・快適作業でラクに草刈り



OMF151

接近性に優れており、安全に無駄なく刈れる!

- オフセットチェーン駆動による優れた接近性で、草刈り作業や場所の移動が安全に行えます。
- オフセット量224cm、作業幅150cmと中型クラスのトラクターで安全に無駄なく刈ることができます。

形式	OMF151シリーズ
適応トラクター (PS)	33~60 (トラクター質量1600kg以上のキャビン仕様に限る)
作業幅 (mm)	1500
機体質量 (kg)	361 ^{※1}
作業能率 (分/10a)	11~27
メーカー希望小売価格 (税込)	¥1,246,300~1,371,700

※1:0S仕様の質量です。

小橋工業株式会社

畑作関連 [うね立て・マルチ]

2畦マルチ ふた小ちゃん

STR4CF(M)



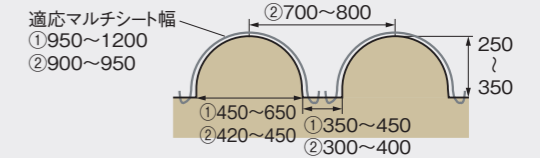
YTトラクターとのベストマッチポイント
YT3R直進アシスト仕様なら、きれいなうねをまっすぐに!

2うね同時整形機がモデルチェンジ!

- 1工程で、2うね同時にうね立てマルチ作業が行え、効率アップが図れます。
- マルチシートの残量に合わせて適度にブレーキを掛けるので、マルチをきれいに張ることができます。
- 交換時期がひと目でわかる、「センサー爪」を採用しています。
- 施肥機・消毒機など同時作業が可能。省力化に貢献します。

型式	STR4CF	STR4CFM
適応トラクター (PS)	20~30	
全長×全幅×全高 (mm)	1590×950×2250	1770×950×1640
メーカー希望小売価格 (税込)	¥1,239,700~1,302,180	

■うね形状 (mm)



※①はSTR4CF、②はSTR4CFMの寸法です。

株式会社ササオカ

畑作関連 [うね立て・中耕培土]

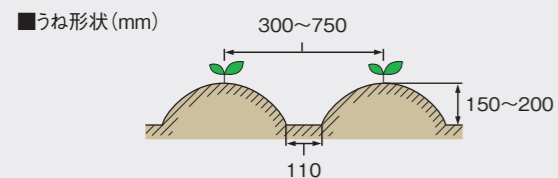
アポロ培土器ライト



農業入門者やホビー農家さんにおすすめ!

- 樹脂製素材の使用で軽量。作業中の旋回や移動もラクに行えます。
- 羽根はハンドル操作で開閉が可能です。また、補助羽根が出入りできるため、作物の根元まで土寄せができます。
- 土の流れが軽快。野菜作全般の培土作業に最適です。

品名	アポロ培土器ライト
適応管理機	YK301QT・YK450MR/650MR/750MR
メーカー希望小売価格 (税込)	¥17,050



旭陽工業株式会社

稲作関連 [育苗]

育苗ローラー

IR-Wシリーズ

育苗ローラーミニ (IR-W750)



柄の角度調整は5段階!

密苗対応!



作業範囲を拡大する、延長パイプをオプションで追加可能。延長パイプを同梱した割安セットもご用意しています。

750mm幅のミニタイプが新登場!さらに扱いやすくなりました。

- ミニ (IR-W750)・ジュニア (IR-W1000) は、ローラー横幅が短く小規模スペースで扱いやすいため、女性や幅広い年齢の方に快適に作業いただけます。
- 徒長しやすく病気が発生しやすい密苗も丈夫に育てます。
- 苗箱、横2枚・縦4枚を1度で作業できます (IR-W1250)。

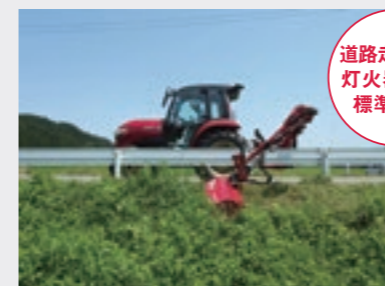
型式	IR-W1250	IR-W1000	IR-W750
タイプ	標準	ジュニア	ミニ
ローラー	横幅 (mm)	1250	1000
	径 (mm)	φ220	
柄	長さ (mm)	2200	1500
	調整	5段階	
機体質量 (kg)	17	16	12
メーカー希望小売価格 (税込)	¥44,770	¥41,140	¥38,720

株式会社啓文社製作所

管理作業 [草刈り]

マルチインプラメントブームマスターZ

BMZ100DX-MF09/200DX-MF10



道路走行対応灯火器などを標準装備!

YTトラクターとのベストマッチポイント
無段変速だから負荷に応じて最適な作業速度に簡単に変更できる!



ブーム先端の付替えて、多用途に活用できる!

- 左前刈作業だから刈取部が視認しやすく快適に作業ができます。
- 水平折りたたみでコンパクトに格納でき、後方視界が良好です。
- ワンアクションで簡単にホームポジションへ、自動展開・格納ができます。
- センサーが負荷を感知して本体を守るセーフティ機能付きです。

型式	BMZ100DX-MF09	BMZ200DX-MF10
適応トラクター (PS)	35~75 ^{※1}	75~135 ^{※2}
全長×全幅×全高 (mm)	1050×1810×1120	1200×2250×1420
刈幅 (mm)	900	1000
刈高さ (mm)	10・40・80(3段階)	
リーチ (m)	水平:3.6・下45°:1.9	水平:4.5・下45°:3.0
メーカー希望小売価格 (税込)	¥3,091,000~3,190,000	¥4,356,000~4,455,000

※1:適応トラクター重量1800kg~ ※2:適応トラクター重量2500kg~
※フレールモアアタッチ付き。際刈アタッチMSC50は別途販売。

株式会社ササキコーポレーション

管理作業 [草刈り]

ツインモア

ZM-3709S (DS)



YTトラクターとのベストマッチポイント
無段変速により、高精度な草刈りを実現!



ロングリーチで快適作業。トラクター用アーム式草刈機。

- 操作は1本レバーで簡単に行えます。レバーはフィンガータッチのため、長時間作業も快適です。
- 4つのアーム位置(右サイド・右後方・後方・左後方)により、用途に合わせた草刈りができます。
- 地面の凸凹に追従するフローティングリンクを採用。刈高さが安定し、精度の高い作業が可能です。
- 公道走行対応型式 (DS) もお選びいただけます。

型式	ZM-3709S	ZM-3709SDS
適応トラクター (PS)	35~	
刈幅 (mm)	900	
刈高さ(3段階調整) (mm)	30・55・80の3段階	
リーチ(2段階切替) (mm)	3700(最大4200)	
メーカー希望小売価格 (税込)	¥1,455,300	¥1,582,900

三陽機器株式会社

稲作関連 [穀物乾燥 (粳・麦 など)]

遠赤外線乾燥機 TCZ

TCZ-ELL60V



TCZ
Toughness タフネス
Compact コンパクト
the Zenith 「頂上」へ



高耐久のTCZシリーズに
先進の安全装備をプラス!

- 7インチの大型タッチパネルを装備。わかりやすいイラスト表示画面で操作が簡単です。
- 強度と耐久性を兼ね備えた強化部品を搭載しています。
- 中段排風路の取り外しができるので、乾燥機の内部まで簡単に掃除ができます。
- 高所作業台、垂直梯子ガードで、高所作業時の安全性が向上します。

型式	TCZ-ELL60V
全長×全幅×全高 (mm)	3220×1579×5632
処理量 (kg)	粳:900~6000 小麦:1080~7200
毎時乾減率 (%/時)	粳:0.6~1.1 麦:0.6~0.9
メーカー希望小売価格 (税込)	¥3,091,000 ^{*1}

※1:据付工事費込みの価格です。

静岡製機株式会社

畑作関連 [肥料散布]

サンソワ

G/V-R10N-3(RT-5)



YTトラクターとの
ベストマッチポイント
車速に合わせた均一
散布で作物の生育
が安定!

うね立てやマルチと同時に肥料散布が可能!

- ロータリー幅2000mmまで対応。作業効率がUPします。
- 耕うんや、うね立て・マルチと同時に施肥ができるため、作業時間を大幅に短縮でき、燃料も節約できます。
- うね立て同時施肥でうねの中だけに肥料を散布するため、ムダな散布がなくコストダウンを図れます。

型式	G-R10N-3(RT-5)	V-R10N-3(RT-5)
容量 (L)	100	
散布口数 (本)	6(3×2ホッパー)	
散布幅 (mm)	1200×2000	
装着方法 ^{*1}	駆動軸パイプ取付	
備考	車速連動付き	車速連動なし
メーカー希望小売価格 (税込)	¥324,500	¥236,500

※1:ロータリー型式により取付金具が異なります。

株式会社ジョーニシ

畑作関連 [調製]

新玉ねぎ調製機

RTC3600



動画はコチラ
QRコード

たまねぎ調製作業の省力化をお手伝い!

- たまねぎを投入すると、根と葉を押しさえて自動でやさしくカットします。
- 部品の着脱・調節により、「未乾燥の青切りたまねぎ」「乾燥たまねぎ」のどちらの調製も可能です。
- 様々な形状・サイズのだまねぎに対応できます。

型式	RTC3600
全長×全幅×全高 (mm)	1190×610×730
機体質量 (kg)	75
最大作業能率 (個/時)	3600
メーカー希望小売価格 (税込)	¥550,000

株式会社スズテック

稲作関連 [フレコン計量]

フレコン自動計量機 フレコンメイト FS-1203シリーズ



動画はコチラ
QRコード

作業場高さ3mで設置可能。
コンパクトサイズの自動計量機!

- 縦型タンク一体型のため、作業場の一部に3mの高さがあれば設置できます。
- 予測計量方式で、正確に計量できます。
- ご要望に合った1台をお選びいただけるよう、「U字はかり」や「検定付はかり」、「プリンタ付はかり」などを取り揃えています。

型式	FS-1203シリーズ
全長×全幅×全高 (mm)	880×960(1210)×2850 ^{*1}
処理能力 (kg/時)	玄米:1800~2400(30~40俵) ^{*2}
昇降機能力 (kg/時)	玄米:3600(60俵)
使用電源 (V)	本体:三相200V・はかり:100
モータ出力 (W)	200
秤量/計量精度 (kg/kg)	1200/±0.5 ^{*3}
メーカー希望小売価格 (税込)	¥748,000~1,672,000

※運搬機2本(U字はかりタイプのみ)、残留米排出シャッター付きです。
※1:()内は増量タンクを含む寸法です。※2:フレコンバグの交換時間により変動します。
※3:実際の計量は、はかり単体の精度±0.5kgも加わります。

株式会社タイガーカワシマ

土づくり関連 [耕うん・耕起]

浅耕リバーシブルプラウ R125AACP・R126AACP



道路走行対応
灯火器などを
標準装備!

YTトラクターとの
ベストマッチポイント
ホイルでもクローラでも、
良好な作業が可能!

動画はコチラ
QRコード

R126AACP

浅耕で反転性に優れた丘溝兼用リバーシブルプラウ!

- ワイドで高速な反転耕起がロータリー感覚で行えます。
- 浅耕でも反転すき込み性に優れ、土壌条件を選びません。
- 土の移動と高低差が抑えられるので、均平作業の時間を短縮できます。

型式	R125AACP	R126AACP
適応トラクター (PS)	60~90	80~120
全長×全幅×全高 ^{*1} (mm)	3750(3630)×2010(2040)×1600	4360(4230)×2220(2280)×1600
機体質量 (kg)	895	980
作業幅 (mm)	1530	1830
作業深 (mm)	120~180	
作業能率 (分/10a)	7~11	6~9
メーカー希望小売価格 (税込)	¥2,860,000	¥3,102,000

※1:()は作業時の寸法です。

スガノ農機株式会社

畑作関連 [うね整形]

スーパー台形整形機 PH-T213/313/413



YTトラクターとの
ベストマッチポイント
作業に最適な速度
が簡単に設定でき、
能率が上がる!

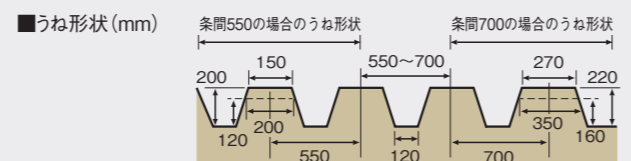
動画はコチラ
QRコード

PH-T313

セルフ耕深機構で土押しなくスムーズにうね立て!

- 1工程で2~4条の小型台形うねをつくることのできるため、作業効率がアップします。
- 野菜移植機での定植に適したうねづくりが可能です。
- オートヒッチの採用で、ロータリーの着脱がカンタンにできます。

型式	PH-T213	PH-T313	PH-T413
適応トラクター (PS)	18~50		
全長×全高×全幅 (mm)	1100×1600×1000	1100×2200×1000	1100×2700×1000
機体質量 (kg)	210	300	370
耕幅 (mm)	1600~2000		
メーカー希望小売価格 (税込)	¥838,750	¥1,085,050	¥1,320,000



鋤柄農機株式会社

土づくり関連 [肥料混合散布]

ブレンドソワ

BLD-500



YTトラクターとの
ベストマッチポイント
YT3R直進アシスト
仕様なら、自動でまっ
すぐムラなく散布!

有機肥料散布におすすめの1台!

- 鶏ふんや有機ペレットなどの有機肥料から化成肥料まで、混合散布が可能です。
- 無線リモコンを搭載しているため、配線を気にせず操作ができます。
- ホッパー底部が開閉し、水洗いや掃除が簡単にできます。
- 大容量500Lホッパーを搭載。施肥量の多い有機肥料散布に最適です。

型式	BLD-500
適応トラクター (PS)	55~100
ホッパー容量 (L)	500 ^{*1}
散布幅 (m)	2.4
散布量 ^{*2} (kg)	鶏ふん:250~430 ペレット:40~440 菜種油粕:90~350 ^{*2}
メーカー希望小売価格 (税込)	¥1,188,000

※1:最大積載量500kg以下
※2:作業速度6(km/時)時

株式会社タイシヨ

畑作関連 [薬物・軟弱野菜の袋詰め]

野菜類袋詰め機 VF810



ほうれんそう・小松菜などの
袋詰めをさらにスピードアップ!

- 3段階の本体高さ調節により、作業者の疲労を軽減。作業効率がアップします。
- 洗浄後の濡れた野菜でも袋詰めができます。
- 袋への投入深さがワンタッチで設定できます。
- 暖気運転スイッチを装備。寒冷地でも快適に作業ができます。

型式	VF810
全長×全幅×全高 (mm)	670×500×930
適応袋寸法 (mm)	幅180~280 ^{*1} ・長さ280~450
袋セット数 (枚)	最大200
作業効率 (袋/時)	800(実作業600)
メーカー希望小売価格 (税込)	¥757,900

※1:袋幅180~200mmの場合、専用シュートが必要になります。

株式会社太陽

飼料作関連 [刈取・梱包]

汎用型微細断飼料収穫機 SMR1030+SMR-MH5



微細断&高密度梱包で高品質サイレージづくり!

- 新設計のマルチヘッドで長大作物や長稈品種の刈り取りもラクに行えます。
- ネット巻き付け時もノンストップで刈り取りが可能で作業効率がアップします。
- ハーベスタ部は省エネアップカット方式を採用しました。
- 多機能コントローラに、作業状況をお知らせする音声ガイダンス機能を追加し、作業性が向上しました。

型式	SMR1030+SMR-MH5
全長×全幅×全高 ^{*1} (mm)	6550×2250×2800
機体質量 ^{*1} (kg)	5430
作業幅 (cm)	180
ペール寸法 (cm)	Φ100×85
理論切断長 (mm)	6 / 11 / 19 / 29
メーカー希望小売価格 (税込)	SMR1030(本体):¥21,945,000 SMR-MH5(マルチヘッド): ¥2,695,000

*1:マルチヘッド付きの値です。

株式会社タカキタ

土づくり関連 [堆肥散布]

スーパーマニアスプレッダ DXS-2025WS



道路走行対応
灯火器などを
標準装備!

Yトラクターとの
ベストマッチポイント
最適な作業速度で
作業効率アップ!

堆肥散布のスタンダード機が公道走行対応に!

- トラクターの運転席から散布量をコントロールできるリモコンを標準装備。4段階の速度調節で細かな散布量調整が可能です。
- 荷台の口が広く深さもあるので、堆肥の積み込みがラクに行えます。横方向からの堆肥の落ちこぼれを防ぐ補助アオリも装備しています。
- 小回りが利くステアリング車軸の採用で、狭い農道やほ場でもラクに作業できます。

型式	DXS-2025WS
適応トラクター (PS)	30~50
全長×全幅×全高 (mm)	5350×1690×1740
機体質量 (kg)	1100
最大積載質量 (kg)	2000
メーカー希望小売価格 (税込)	¥2,761,000

株式会社デリカ

管理作業 [防除・除草剤散布]

キャビンハイクリブーム BSA-2000C



散布効率を重視した2000Lタンクのハイクリ!

- 2000Lタンクなので1回の散布面積が増加。給水作業が削減でき作業効率が向上しました。
- 21.9mの散布幅と最大7.0kmの高速散布で、効率的な防除が可能です。
- 視界性に優れたキャビンで、快適に作業ができます。
- 公道走行可能。コンパクトなので3.5tトラックに積載することも可能です。

型式	BSA-2000C
全長×全幅×全高 (mm)	6200×2200×2970
機体質量(乾燥質量) (kg)	2630
エンジン出力 (kW(PS))	43.2[58.7]
ポンプ吸水量 (L/分)	220
タンク最大容量 (L)	2000
散布幅 (m)	13.5~21.9
メーカー希望小売価格 (税込)	¥18,469,000

株式会社丸山製作所

管理作業 [草刈り]

ラジコン草刈機 RCM600



遠隔操作で快適作業!もっと楽に、もっと安全に。

- 最大45度の傾斜地に対応。クローラや傾斜アシスト機能により安定した走行ができます。
- 正面切替機能により、操作の反転が可能。常に前進方向で操作することができます。
- 刈刃はフリーナイフを採用。細かく粉碎された刈り草が地面に散らばり、刈り跡がきれいです。
- エンジンで発電し、走行・刈り取りはモータで行うハイブリッド仕様です。

型式	RCM600
全長×全幅×全高 (mm)	1255×975×640
機体質量 (kg)	220
走行速度 (km/時)	0~4
刈幅 (mm)	600
刈高さ (mm)	35~100(無段階)
メーカー希望小売価格 (税込)	¥2,035,000

株式会社やまびこ

畑作関連 [うね立て・マルチ]

ウルトラハッスル 平高うねロータリーマルチ TFRH150M/180M



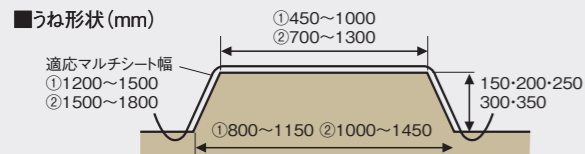
Yトラクターとの
ベストマッチポイント
簡単な調整で、簡単
にうね立て!



野菜づくりに最適なうね立て作業を、より早く簡単に!

- うね高さ150~350mmまでのマルチ作業が可能!水はけの良い畑はもちろん水田あとまで、これ1台で対応できます。
- 全型式に軸止め金具を装備。作業機への負担となる振動を軽減します。
- ほ場条件により、標準仕様と爪仕様をお選びいただけます。

型式	TFRH150M	TFRH180M
適応トラクター (PS)	18~35	
メーカー希望小売価格 (税込)	¥629,200~643,500	¥649,000~663,300



*1:①TFRH150M、②TFRH180Mの寸法です。

株式会社藤木農機製作所

稲作・畑作関連 [耕うん]

ロータリー SX20シリーズ



SX2220

Yトラクターとの
ベストマッチポイント
最適な作業速度に無
段階調整ができ、作
業効率アップ!



使いやすさと耐久性を兼ね備えた定番ロータリー!

- 新型ブラウン爪の採用で、耐摩耗性が最大1.7倍アップしました(当社比)。
- フランジ爪は1本ラセンの理想的な爪配列で、より均平性が向上しました。
- 均平板の持ち上げ時の負担が軽減される「均平板らくらくアシスト」を標準装備しています。
- 作業幅2.2mが新たにラインアップに加わりました。

型式	SX20シリーズ
適応トラクター (PS)	24~60
機体質量 (kg)	347~475
作業速度 ^{*1} (km/時)	1.5~2.5(ほ場条件による)
作業幅 (mm)	1600~2200
メーカー希望小売価格 (税込)	¥803,000~1,034,000

*1:スタンドなしの質量です。

松山株式会社

稲作関連 [穀物乾燥(粃・麦)]

汎用遠赤乾燥機 ウィンディビルドシリーズ HD-80VDM



1台5役の汎用乾燥機に
待望の大型シリーズが
登場!

SA
SMARTASSIST
連携対象機種

- 粃・麦・大豆・そば・コーンの乾燥を標準搭載しています。
- 自動調質乾燥運転「おまかせ乾燥」により、高精度な乾燥作業と高品質米の生産をサポートします。
- 風胴の掃除口を改良し、掃除やメンテナンスがラクに行えるようになりました。
- HD-VDMシリーズは、60・70・80石のラインアップを取り揃えています。

型式	HD-80VDM
全長×全幅×全高 (mm)	3470×1575×6900
処理量 (kg)	粃:1100~8000 ^{*1} ・小麦:1350~9700 ^{*2} 大豆:2350~8000 ^{*3} そば:1900~8000 ^{*4} コーン:1500~10000 ^{*3}
毎時乾減率 (%/時)	粃:0.7~1.0(ふつう)・0.8~1.2(はやい) 小麦:0.7~1.3(ふつう)・0.9~1.4(はやい) 大豆:0.1~0.4、そば:0.2~0.8、コーン:0.5~1.0
メーカー希望小売価格 (税込)	¥4,400,000 ^{*5}

*1:560kg/m³時 *2:680kg/m³時 *3:700kg/m³時 *4:600kg/m³時
*5:据付工事費込みです。

株式会社山本製作所

管理作業 [草刈り]

乗用フレールモア BM21F



乗って、刈って、ラクしてキレイに!

- 4WDで高い走破性を実現。リヤステアリングで小回り性も良好です。
- 刈幅はワイドな1200mm。高強度ナイフの採用で、切れ味が持続します。
- 刈取部は地面の隆起に追従し、刈り跡がキレイに仕上がります。また、スイッチを押すだけで刈取作業部の昇降ができ、洗浄や点検に便利です。

型式	BM21F
全長×全幅×全高 (mm)	2520×1470×930
機体質量 (kg)	485
刈幅 (mm)	1200
作業能率 (a/時)	72
メーカー希望小売価格 (税込)	¥1,914,000

和同産業株式会社